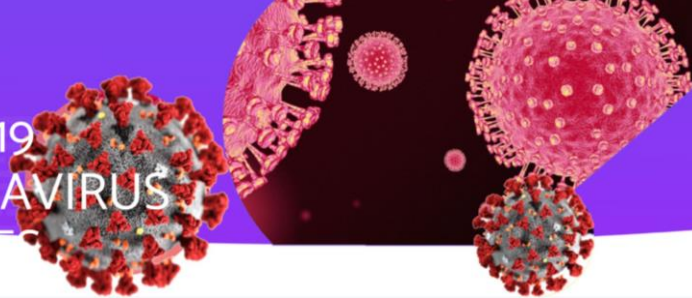


COVID-19
CORONAVIRUS



教室の一年の歩み

– 2022 –

江口 晋

2022年12月3日

長崎大学移植・消化器外科 同門会（鐘韻会）

**長崎大学 移植・消化器外科(第二外科)
教室構成員**

同門会員数 370名 (女性：26名)
(本年ご逝去者2名)

関連施設数 30施設

現役教室員数 84名 (女性：13名)

- 大学内 30名 (女性：5名)
- 関連施設 51名
- 留学中 3名 (海外2、国内1)

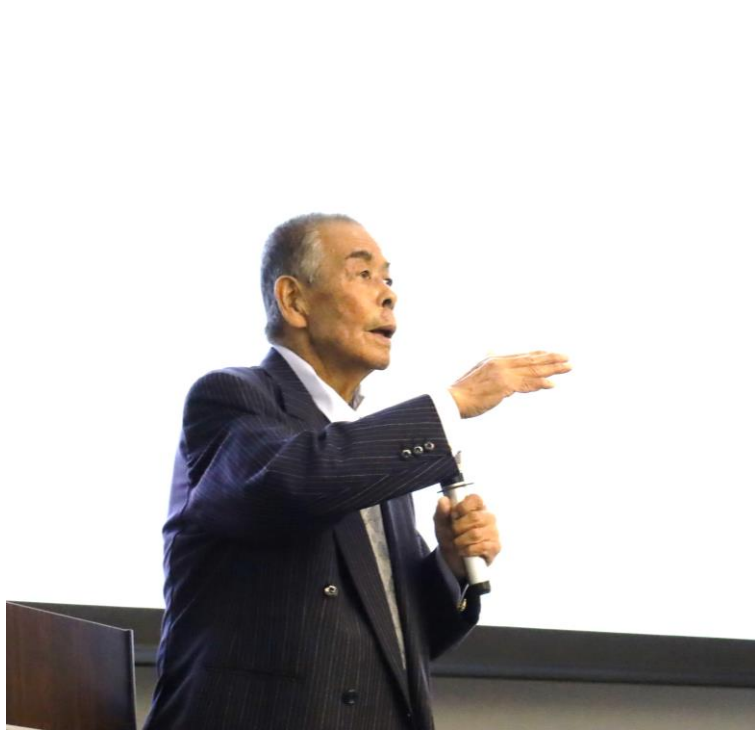
(2022年12月3日現在)

逝去者(2021.12～2022.11)

- ・ 山口 昇 先生（昭和32年卒） 2022年 3月30日 ご逝去 享年90歳
- ・ 山崎 仁美 先生（昭和37年卒） 2022年 4月23日 ご逝去 享年90歳
- ・ 栗原 公太郎 先生（昭和51年卒） 2022年11月22日 ご逝去 享年72歳

小嶺 忠敏監督

2022年1月7日 ご逝去



2021年12月4日 第25回鐘韻会 講演

2022年の長寿祝い

【米寿88歳（昭和10年生）】

酒井一守（昭和10年1月31日）

安田光則（昭和10年2月13日）

中嶋義三（昭和10年12月2日）

齊木貞彦（昭和10年2月6日）

本田 遜（昭和10年8月18日）

北島陽夫（昭和10年12月9日）

【喜寿77歳（昭和20年生）】

織部孝史（昭和20年1月22日）

加藤尚志（昭和20年5月11日）

兼松隆之（昭和20年7月8日）

山口 孝（昭和20年8月21日）

神田和弘（昭和20年12月6日）

重岡健一郎（昭和20年3月28日）

木田栄郎（昭和20年5月29日）

宮本峻光（昭和20年8月7日）

鮫島恭彦（昭和20年10月7日）

持永信夫（昭和20年12月9日）

移植・消化器外科（旧第二外科）同門会幹事会

年間 3回の開催（3月、6月、10月）

会長 野田 剛稔 先生

幹事 岸川 博紀 先生

松元 定次 先生

田中 公朗 先生

山口 実 先生

吉良 満夫 先生

山下 直宏 先生

佐々木 誠 先生

釣船 崇仁 先生

松崎 純宏 先生

鐘 韻



長崎大学第二外科同門会
平成 年 月

鐘韻フォトギャラリーへのご寄稿お願い致します

鐘韻フォトギャラリー



小川吾一先生 (S55年卒)



「馳駆」

この写真は或る砂浜で偶然にこの場面を見つけて撮ったものです。砂を盛り上げたり、掘ったりなどの細工をして作ったものではありません。全く自然が作り上げたそのままの姿です。

自然が作り出す造形美には時として想像を絶する、人知のおよばないものがあるように感じることがあります。このような時に、人はまさに畏怖の念を抱くのかも知れません。しかし、逆に言えば単に人間がそれに気付かないだけなのではないでしょうか。日常の何気ない物や事にも目を向けて観察することの大切さを教えてくれているようです。

ビュービューと砂の巻き上ぐ浜辺にてふりかえ見れば駿馬の駆け行く

江口晋先生 (H4年卒)



「秋の古屋野先生像」

栗原公太郎先生 (S54年卒)



『火張山公園 コスモス畑で』

塩竈利昭先生 (S53年卒)



『マッターホルン』

岸川博紀先生 (S50年卒)



『お腹すいた！』

散歩の途中で見つけました。

教室の構成と現況 2022

大学外科教室のミッション

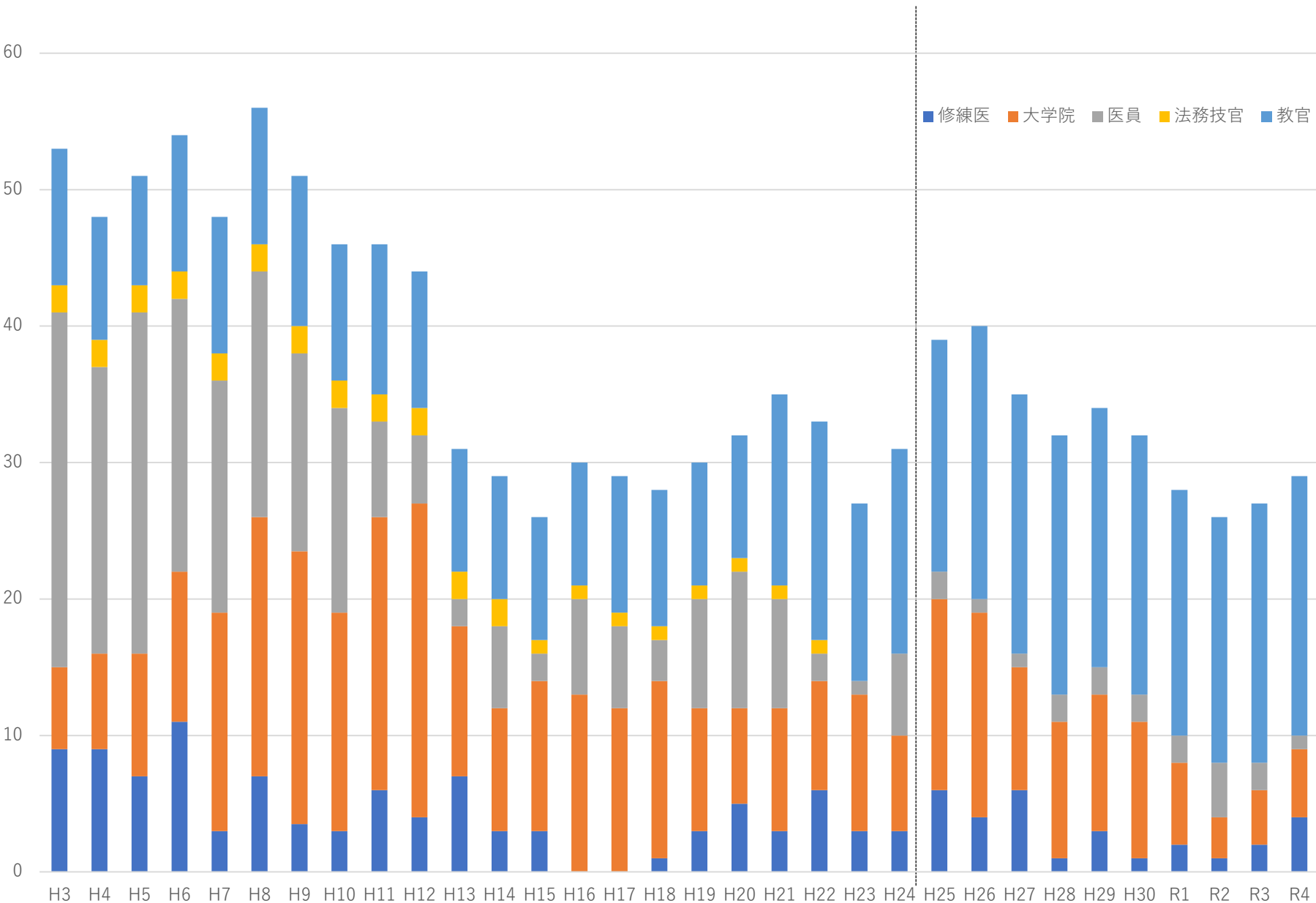
1. 人材育成

専門医・地域医療・教育者・社会/国際医療

2. 情報発信

臨床・研究・社会/国際貢献

大学勤務医師数



教員人事

採用・昇任

小林 和真	(平成6年)	長崎大学病院	講師	(2022年4月1日付)
松本 亮	(平成23年卒)	長崎大学病院	助教	(2022年 4月1日付)
久芳さやか	(平成13年卒)	長崎大学病院	病院講師	(2022年 6月1日付)
曾山 明彦	(平成12年卒)	長崎大学大学院	先端技術展開外科学講座 准教授	(2022年10月1日付)
松隈 国仁	(平成23年卒)	長崎大学病院	助手	(2022年10月1日付)
吉元 智子	(平成23年卒)	長崎大学病院	医員	(2022年 4月1日付)
円城寺貴浩	(平成25年卒)	長崎大学病院	医員	(2022年 4月1日付)
哲翁 華子	(平成28年卒)	長崎大学病院	医員	(2022年 4月1日付)
品川 博光	(平成31年卒)	長崎大学病院	修練医	(2022年 8月1日付)

教員人事

転出

田中 貴之（平成17年卒） 助教 佐世保市総合医療センター （2022年3月31日付）

伊藤信一郎（平成11年卒） 病院准教授 光晴会病院 （2022年9月30日付）

濱田 隆志（平成23年卒） 医員 留学（デンマーク王立病院） （2022年3月31日付）

栗寄 健 （平成29年卒） 修練医 上五島病院 （2022年3月31日付）

吉元 智子（平成23年卒） 医員 大腸肛門病センター高野病院（2022年9月30日付）

新入局員



笠 伸大郎 H29



中村 瞬 H30



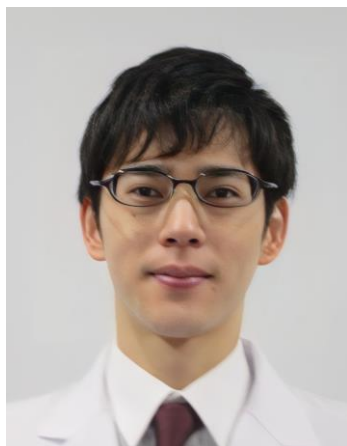
久保 飛翔 H31



小川 伸一郎 R2



黒滝 航希 R2



中山 嵩士 R2



布下 裕基 R2

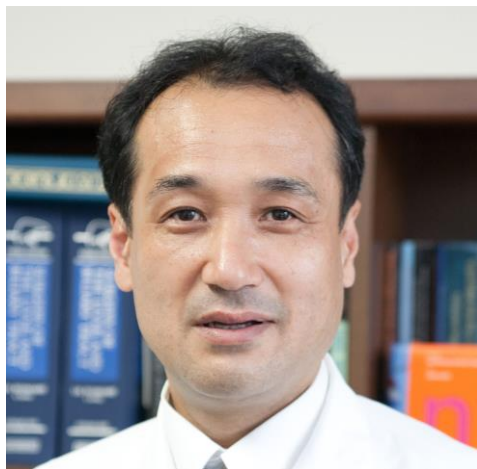


林田 浩太郎 R2



松尾 聖哉 R2

教授



江口 晋 H4

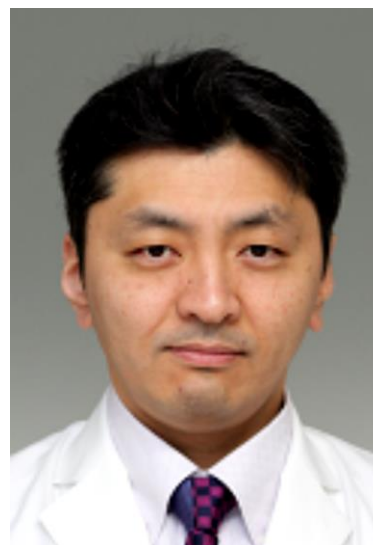
移植・消化器外科
副病院長(安全)

学会理事 日本消化器外科学会
日本消化器病学会
日本肝胆膵外科学会
日本移植学会
日本肝移植学会
日本再生医療学会
日本Acute Care Surgery学会
国際外科学会 日本部会
アメリカ外科学会 日本支部
九州消化器癌化学療法研究会 (KSCC)



永田 康浩 S61

医学部地域医療学講座



金高 賢悟 H6

消化器・再生医療学講座



林田 直美 H10

原研センター共同研究推進部

准教授

講師



日高匡章 H11
(肝胆膵G)



曾山 明彦 H12
(先端技術展開外科学講座)



小林和真 H6
(化学療法G)

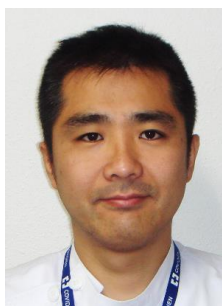


足立智彦 H12
(肝胆膵G)

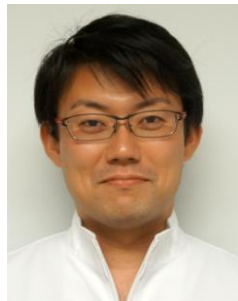


久芳さやか H13
(内分泌G)

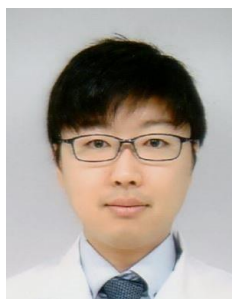
助教



小坂太一郎 H14
(小児G) **医局長**



井上悠介 H16
(下部G)
副医局長



小林慎一郎 H18
(上部G)



丸屋 安広 H19
(上部G)



原 貴信 H19
(肝胆膵G)



松島 肇 H19
(肝胆膵G)



森田 道 H20
(内分泌G)



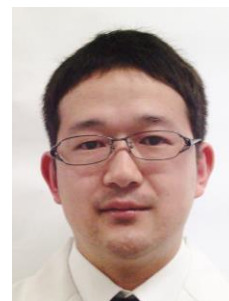
今村一步 H21
(肝胆膵G)



岡田 怜美 H22
(下部G)



足立 利幸 H23
(下部G)



松本 亮 H23
(上部G)



宮本大輔



猪熊孝実 H13
救命・救急センター

大学院生

4年生



村上 俊介 H25



池田 貴裕 H25



品川 博光 H31



中村 瞬 H30



久保 飛翔 H31



小川伸一郎 R2

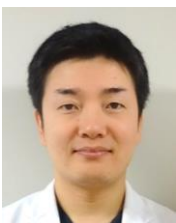
3年生



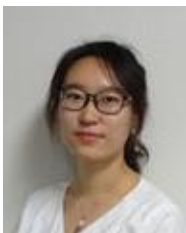
藤田 拓郎 H24



松隈 国仁 H26



福本 将之 H27



孟 祥玥

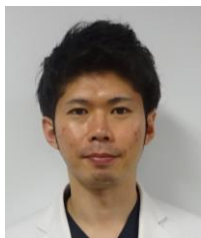


布下 裕基 R2



黒滝 航希 R2

2年生



吉野恭平H27

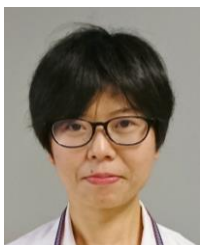


円城寺貴浩 H25

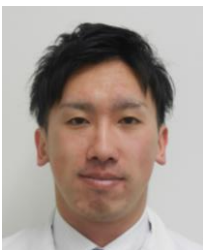


李 佩霖

1年生



哲翁 華子 H28



右田 一成 H29



川口 雄太 H29



栗寄 健 H29



李 陸洋

修練医

ラボさん

濱口さん
胆膵データ入力

森さん
医師事務
作業補助

江島さん
予算管理

東さん
実験室

佐藤さん
受付

草野さん
教授秘書

山口さん
消化器再生医療
学講座事務

高柳さん
上部班
業務サポート
NCD入力



吉田さん
先端技術展開
外科学講座事務

原口さん
乳腺班
業務サポート

村井さん
実験室

林田さん
受付

長谷川さん
実験室

柴田さん
医局長秘書

沼崎さん
受付

国内留学/派遣者



釘山 統太 H20
九州医療センター 高見先生
肝胆膵外科



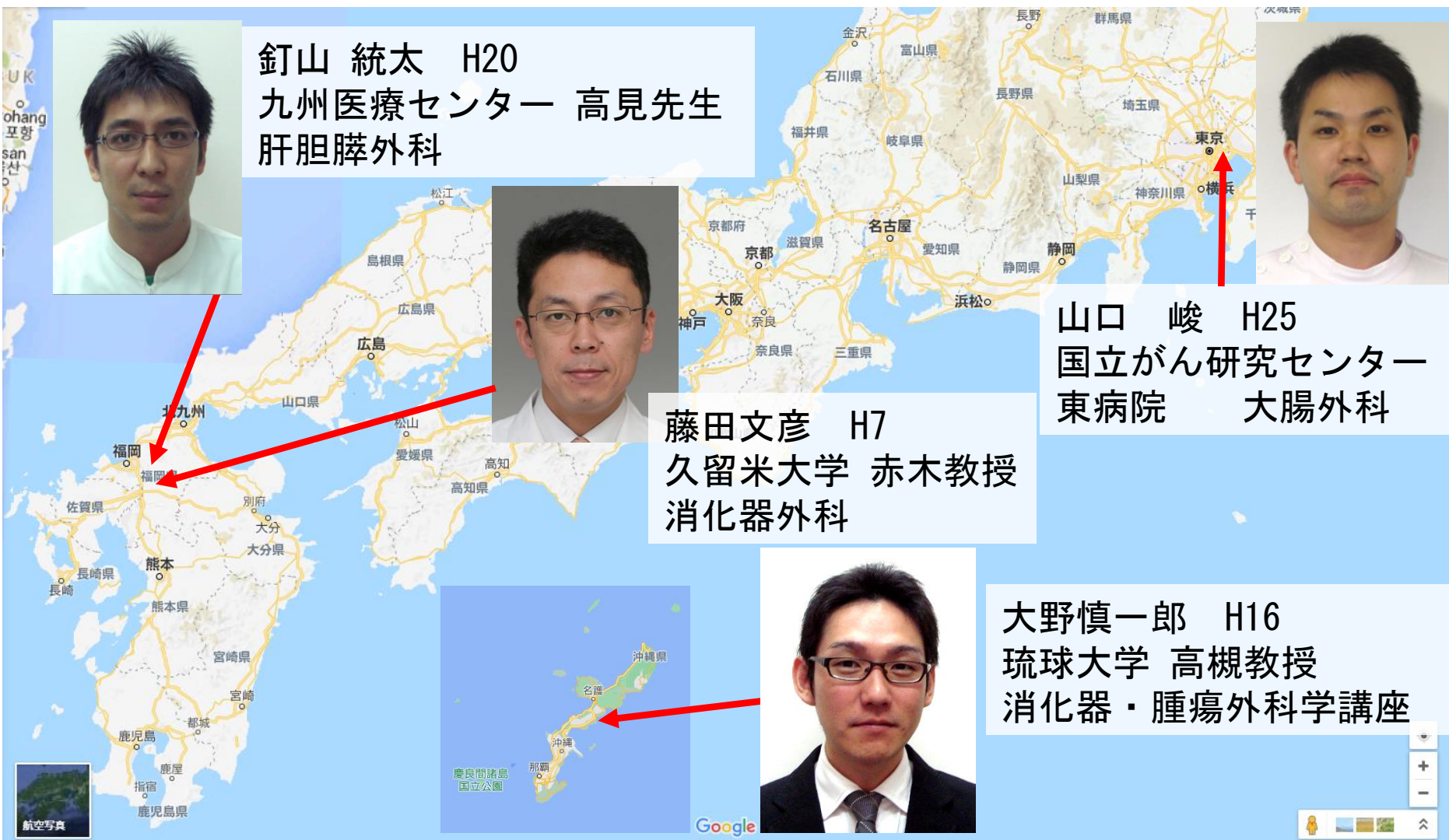
藤田文彦 H7
久留米大学 赤木教授
消化器外科



山口 峻 H25
国立がん研究センター
東病院 大腸外科

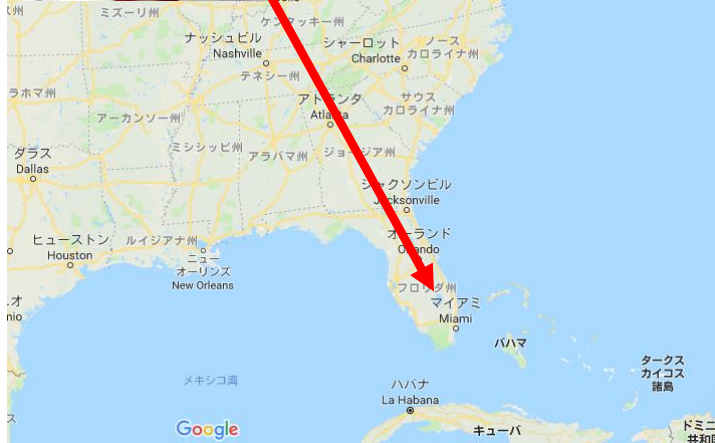
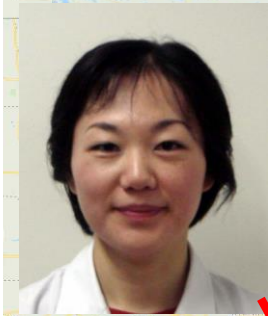


大野慎一郎 H16
琉球大学 高槻教授
消化器・腫瘍外科学講座



海外留学者

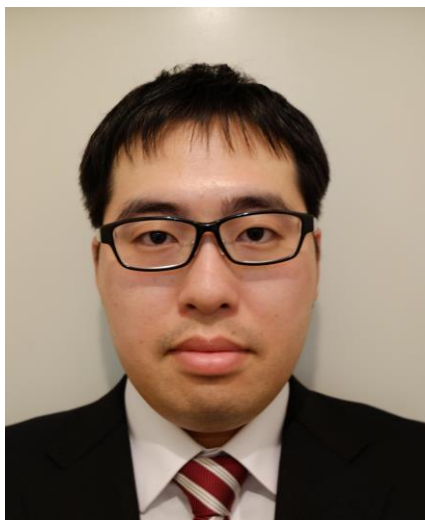
カーペンター(村岡) いづみ H17
マイアミ大学 移植ドナーCo



濱田 隆志 H23
デンマーク王立病院



国内留学者予定者



松隈 国仁 H23

国立がん研究センター中央病院

抗癌剤治療修練のため

(2023年4月～)

来年度入局決定者

又野	護	(北九州総合病院)
松尾	和哉	(長崎医療センター)
牟田	裕貴	(長崎みなとメディカルセンター)
田崎	海斗	(長崎医療センター)

入局希望者の情報があれば、
いつでもご連絡ください。

(2022年1月～2022年11月)

新規専門医/指導医（学内）

日本消化器外科学会 指導医 原 貴信、丸屋 安広

専門医 足立 利幸

消化器がん外科治療認定医 足立 利幸

日本内視鏡外科学会 技術認定医 岡田 怜美、足立 利幸

評議員 井上 悠介

日本腹部救急医学会 評議員 原 貴信

日本Acute Care Surgery学会 評議員 原 貴信

など

(2021年1月～2021年12月)

新規専門医/指導医（学外）

日本消化管学会	指導医	円城寺 昭人
日本大腸肛門病学会九州支部	評議員	岡田 和也
日本内分泌外科学会	専門医	崎村 千香
日本腹部救急医学会	認定医	平原 正隆
日本胸部外科学会	専門医	平原 正隆
日本消化器外科学会	専門医	峯 由華
消化器がん外科治療認定医		峯 由華

など

※現在までに医局で把握している情報です。引き続き、新規の資格はご連絡ください。

コロナ下の医局行事



年度末壮行会（2022年3月22日）



年度始め式（2022年4月1日）

本年中止となった医局行事・イベントなど

- 2月 医局旅行
- 4月 お花見・新入局・帰局者歓迎会
- 8月 医局BBQ、BJセミナー、i-1グランプリ（糸結び大会）（夏）



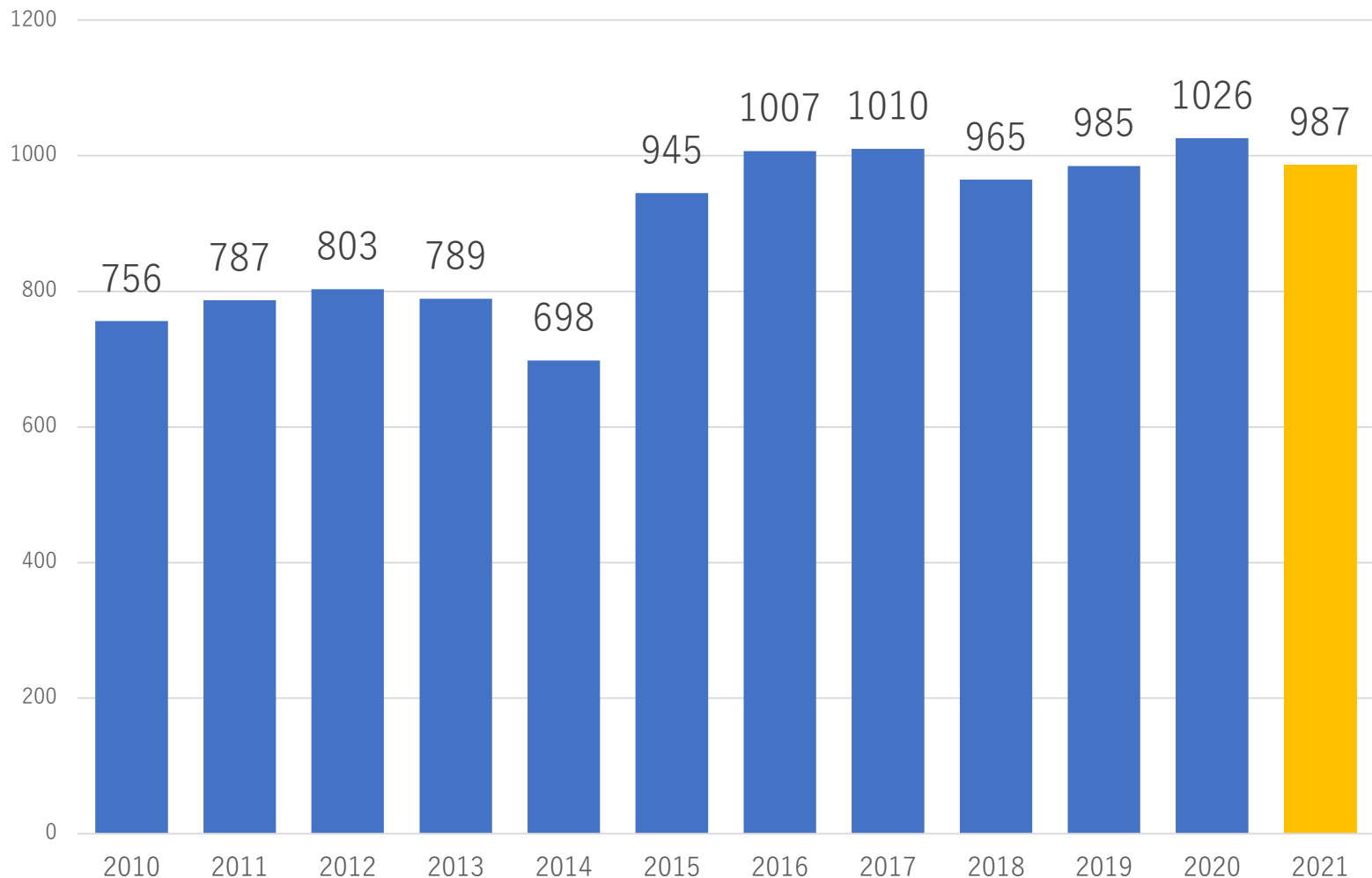
ラボさんとの食事会（2021年12月28日）



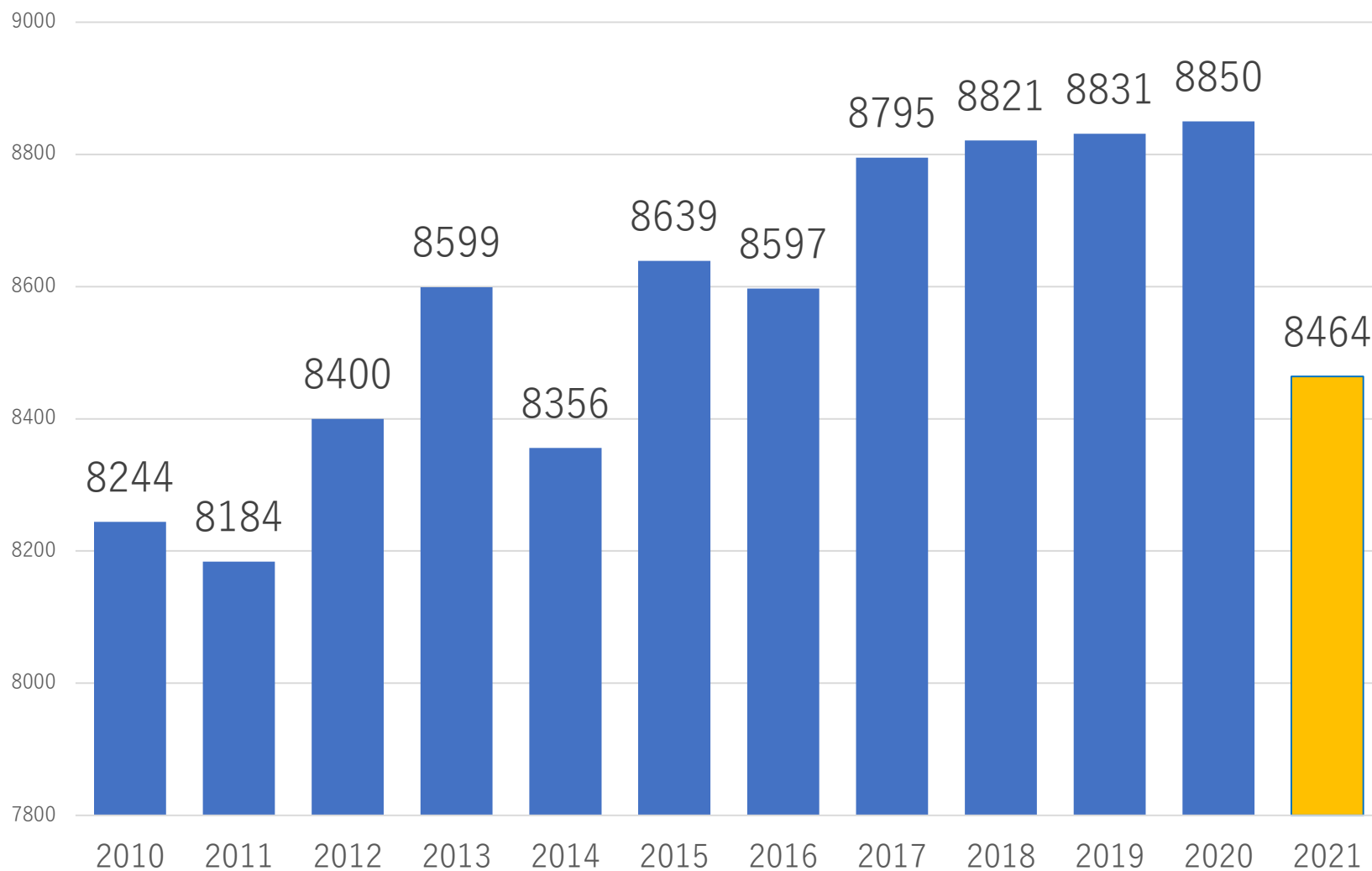
医局野球（2022年9月）

教室の臨床 2022

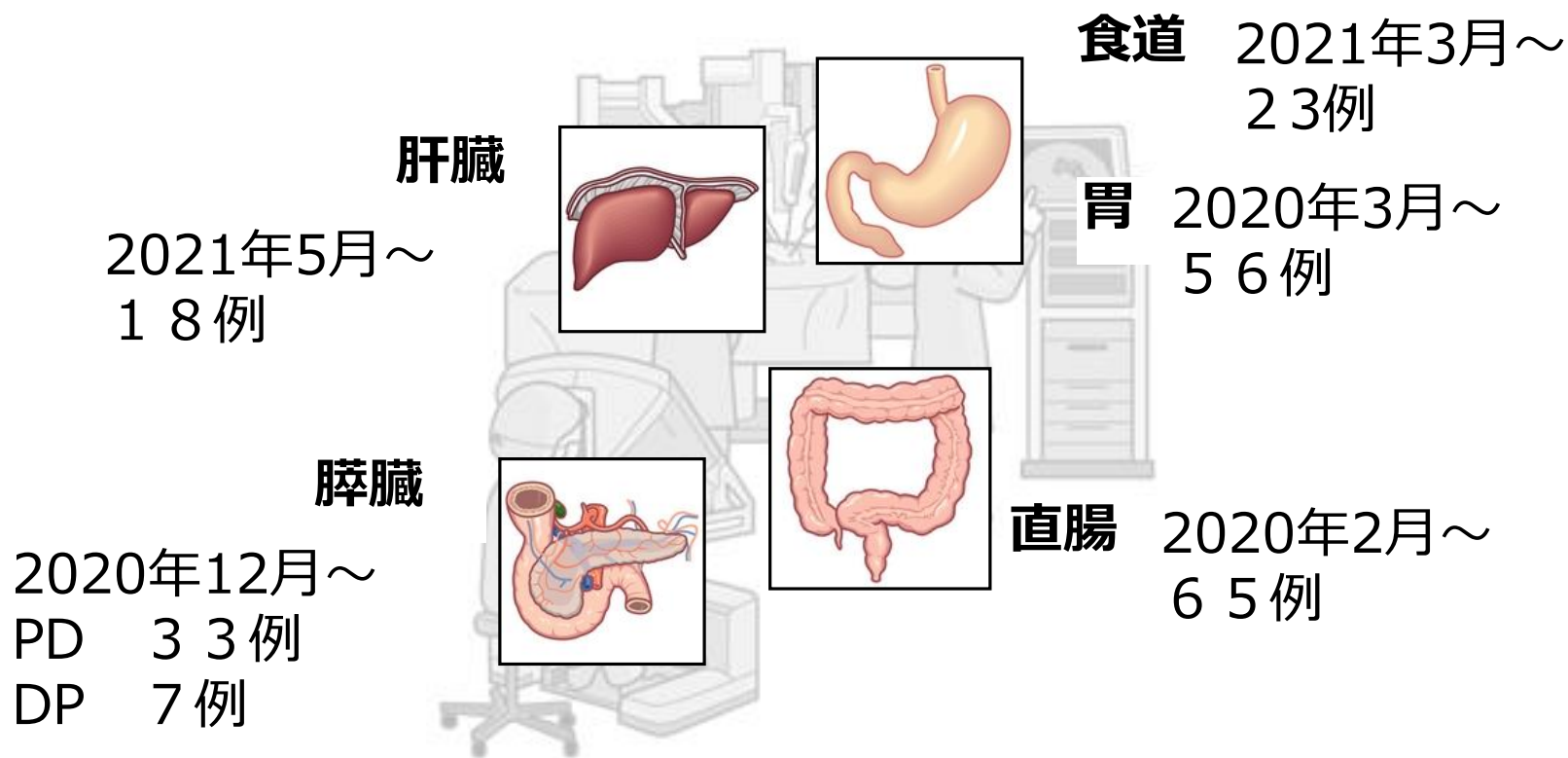
当科手術総数 (長崎大学病院)



関連病院手術総数



当科におけるロボット支援下手術の導入状況



コンソール操作医師：10名

2022からのロボット手術の適応拡大（肝、結腸、総胆管拡張症）

臨床研究中核病院：長崎大学も申請中



承認済み病院

- ・ 国立がん研究センター中央病院
- ・ 国立がん研究センター東病院
- ・ 東北大学病院
- ・ 千葉大学医学部附属病院
- ・ 東京大学医学部附属病院
- ・ 名古屋大学医学部附属病院

- ・ 京都大学医学部附属病院
- ・ 大阪大学医学部附属病院
- ・ 岡山大学病院
- ・ 九州大学病院
- ・ 慶應義塾大学病院
- ・ 北海道大学病院

特定臨床研究の能力要件の基準値について

別紙

1. 特定臨床研究を実施する能力（Ⅰ、Ⅱ）に関する基準値

- 特定臨床研究の実施件数は、基本的に医師主導治験について、①自ら実施した件数、②多施設共同研究を主導した新規件数について設定。併せて関連する論文数も設定。
- 基準値は「健康・医療戦略」の達成目標との整合を図りつつ、平成23年度に選定された5拠点の実績を参考に設定。

※ただし、特定疾病領域（医療上の必要性が高いものの企業による開発が進まない、難病・希少疾病、小児疾患、新興・再興感染症）を中心に行う病院については、要件を緩和。

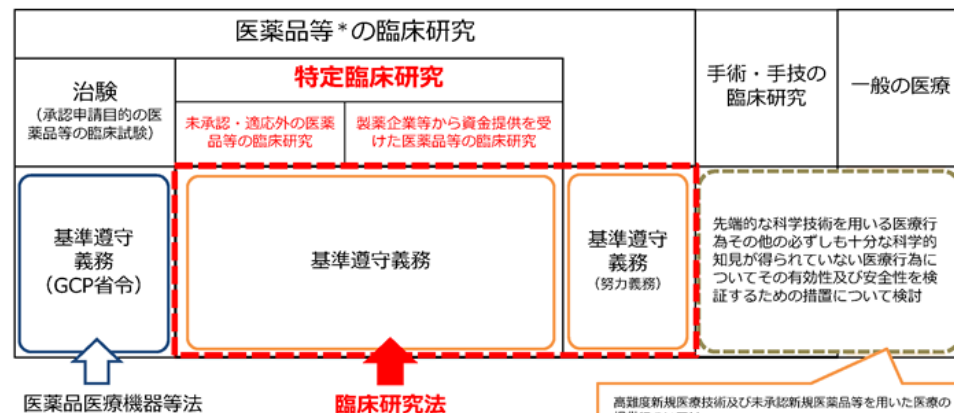
特定臨床研究の新規実施件数（過去3年間）		特定臨床研究に関する論文数（過去3年間）
①自ら実施した件数 （括弧内は特定疾病領域の場合）	②多施設共同研究を主導した件数 （括弧内は特定疾病領域の場合）	（括弧内は特定疾病領域の場合）
医師主導治験が4件（2件） 又は 臨床研究*が80件（40件） （ただし医師主導治験を1件以上実施）	医師主導治験が2件（1件） 又は 臨床研究*が30件（15件）	45件 （22件）
*医薬品・医療機器等を用い、介入・侵襲を伴うものに限る。		

2. 特定臨床研究を援助する能力（Ⅲ）・研修を行う能力（Ⅳ）に関する基準値

- 基準値は平成23年度に選定された5拠点の実績を参考に設定。

他の医療機関が行う特定臨床研究に対する援助の件数	15件（過去1年間）
特定臨床研究を実施する者を対象とする研修会の開催件数	6件（過去1年間）
特定臨床研究を支援する者を対象とする研修会の開催件数	6件（過去1年間） 等

臨床研究法の対象範囲



* 医薬品等：医薬品、医療機器、再生医療等製品

高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療の提供については、
①各病院ごとに提供の適否等を判断する部門の設置
②当該部門を中心とした審査プロセスの遵守等を、
・ 特定機能病院及び臨床研究中核病院については承認要件として義務付け
・ その他の病院等については努力義務とする。

（平成28年6月10日省令公布）
※平成29年4月以降適用

大学教室での臨床研究

特にこういう症例、ご紹介ください！

- 上部班 → 食道がん：Pembro/TAS120による術前、再発治療（治験）
ロボット食道切除
- 下部班 → 直腸がん：TaTME/Robot手術の推進に向けて
CRM/DMに関する研究（臨床研究：国立がんセンター東）
- 肝臓班 → 肝細胞がん：Atezo/BevaによるNAC（臨床研究）
肝内胆管癌 切除不能・再発：TAS120（治験）
ロボット肝切除
- 胆膵班 → 膵がん：術前治療/JCOG
ロボット膵切除
1型糖尿病患者（膵移植の可能性）
腸管機能不全の患者（小腸移植の可能性）
- 内分泌班 → 乳がん：化学療法が必要なもの AMED研究申請
- 小児班 → 小児消化管疾患：ヘルニア、便秘とかでも AMED研究申請
- 化療班 → 胃がん・食道癌・大腸がん：特に高齢者で化学療法が必要なもの
KSCC 主任研究者「NACとMicrobiota」

今後の臨床の展開(準備状況)

- ロボット手術の適応拡大 (総胆管拡張症など)
- 腹腔鏡下ドナー肝切除 (肝外側区域グラフト)
- 脳死下小腸移植

2022年11月3日 京都新聞 (13面)

PRESS RELEASE (案)

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

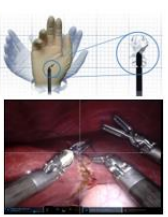
2022年2月28日

報道機関 各位

九州初の高難度新規医療技術「ロボット支援下肝切除術」を実施しました。

長崎大学病院では、肝切除手術における侵襲の低減化に向けた「ロボット支援下肝切除術」の臨床研究を2021年5月に開始し、これまでに8名の患者さんに対してこの術式で手術を実施しております。この術式を実施するためには、経験を積んだ消化器外科専門医による高度な技術と、最新の医療設備(ダ・ヴィンチ)が必要で、実施施設には高い承認条件が求められることから、実施可能な施設が限られております。

現在は保険適用外の術式ですが、2022年4月の診療報酬改定で保険適用となることが決定し、本院で本格的に高難度新規医療技術「ロボット支援下肝切除術」が提供可能となります。



■ロボット支援下手術とは

腹腔鏡手術を支援する内視鏡下手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)を使用して実施する手術です。患者さんのお腹にあけた小さな穴に手術器具を取り付けたロボットアームと内視鏡を挿入し、医師がサージョンコンソールと呼ばれる操作ボックスの中で内視鏡画像を見ながら操作して手術をします。高解像度の3Dカメラ、鉗子の先端に自由度をもつ関節、手振れ補正機能などの多くの特徴を持っていて、特に微細な処理を要する手術において有用性を発揮します。

「臓器灌流」臨床導入へ

SCREENと長崎大が研究

機能改善、移植機拡大に

SCREENホールば移植機拡大につ
ディンクスと長崎大
は、移植前の臓器に血
液などを再び流す「臓
器灌流システム」の国
内初の臨床導入に向け
た共同研究を本格的に
スタートした。臓器の
機能改善を可能にし
る技術で、普及すべ
い。

長崎大によると、日
本は欧米などに比べて
臓器移植件数が少なく
、搬送時間が長くな
り、結果的に移植が実
現しないケースもある
という。同システムで
は、移植前の臓器に血
液などを再び流すなど
を循環させれば、機能
が改善するほか、移植
前に状態を確認するこ
とができる。

両者は昨年、肝移植
EHNの吉岡正孝上席
記者説明会でSCREEN
た。

(後井孝彦)

小林英司東京慈恵
会医科大特任教授の指
導を受けて開発を進め
ている。

長崎大によると、日
本は欧米などに比べて
臓器移植件数が少なく
、搬送時間が長くな
り、結果的に移植が実
現しないケースもある
という。同システムで
は、移植前の臓器に血
液などを再び流すなど
を循環させれば、機能
が改善するほか、移植
前に状態を確認するこ
とができる。

両者は昨年、肝移植
EHNの吉岡正孝上席
記者説明会でSCREEN
た。

(後井孝彦)

教室の教育 2022

学生教育

医学知識を伝えるのも大切だが、

「外科がどのような仕事で、

自分達はその仕事をどれだけ好きで、

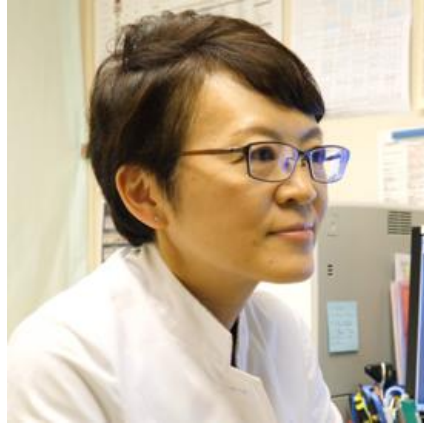
それを学生達に教えるのがどれだけ楽しいか」

が解る様に。

2022年学外非常勤講師の先生方



沖縄 友愛医療センター
嵩下英次郎先生



九州医療センター
高見 裕子先生



福岡青洲会病院 乳腺外科
山口 淳三先生



琉球大学 消化器・腫瘍外科
高槻光寿教授



臨床実習（ポリクリ, クリクラ）

アンケートで2年連続学内No1の評価をいただきました！

対象：2021年度5年生（ポリクリ）

（アンケート実施日：2022年1月）



3. 第二外科

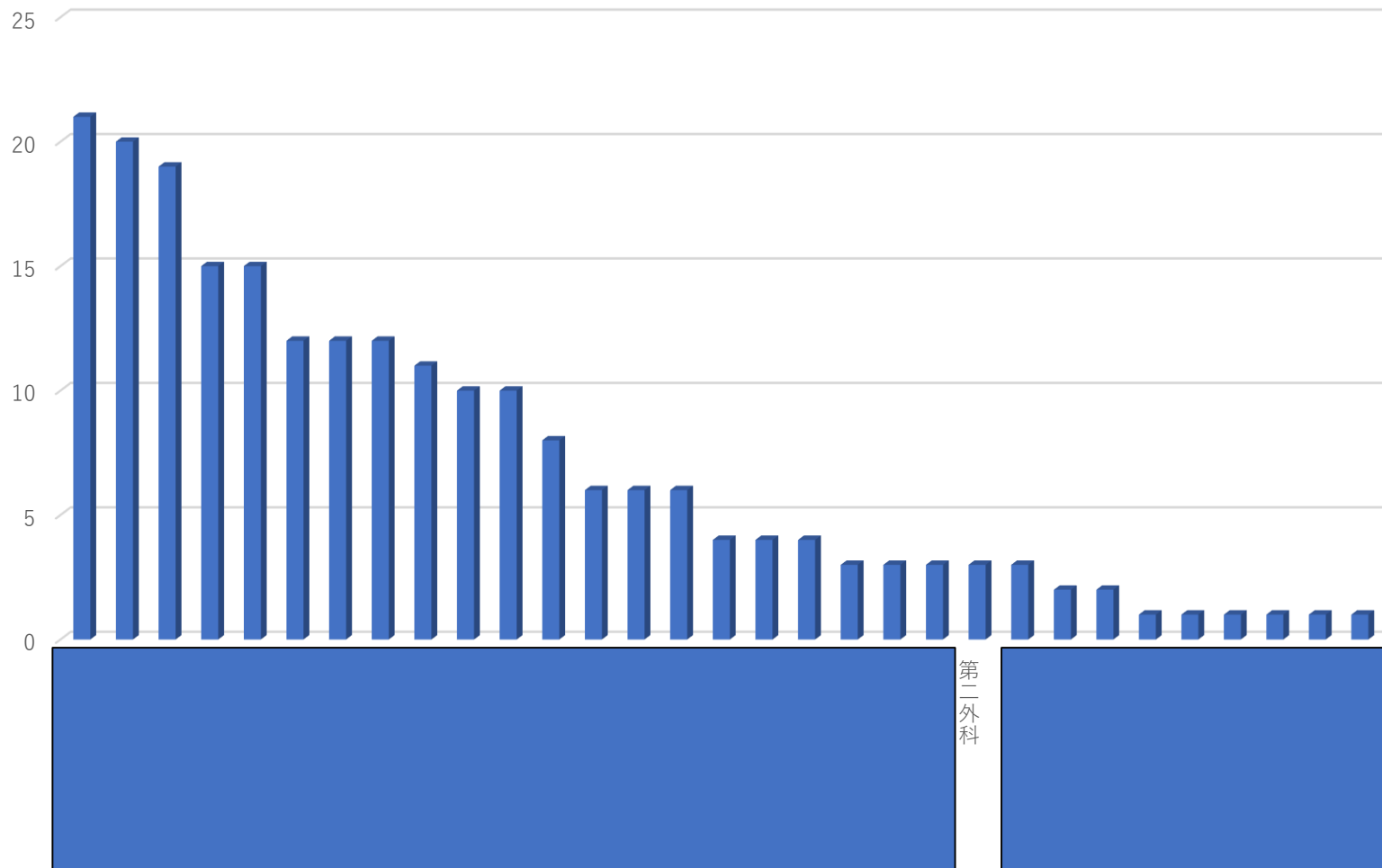
<良いと思う理由>

- 様々な手技を経験できた。・・・17名
- 手技もたくさんやらせてもらったし、説明もとても丁寧だった。・・・6名
- 先生方の雰囲気良かった。・・・3名
- ダヴィンチシミュレータ実習が非常に為になった。・・・2名
- 積極的な外科手技を行うことができた。・・・2名
- 先生方が皆親身に教えてくださった。・・・2名
- チームの一員としてとても優しく受け入れてくれた。たくさんのが経験できた。・・・2名
- カンファで手術の手順を解説していただけて理解が深まった。・・・2名
- 手技等をたくさんさせてもらえ実際に色々学べた。楽しかった。・・・2名
- 雰囲気が良く、手技も積極的にやらせていただいた。・・・2名
- 移植班ではしっかり見ながら教えてくれた。
- 診療チームの一員として扱ってもらった。
- 積極的に手技をやらせていただき、手術中も手持ち無沙汰にならなかった。
- 惹き込まれた。

2. 臨床実習について検討してほしいと思った実習科

対象：2021年度5年生（ポリクリ）

（アンケート実施日：2022年1月）



4. 第二外科

<検討してほしい理由>

- 手術が長い。・・・2名
- もう少し班所属の学生とのコミュニケーションを大事にしてほしいと思った。

学生時代はいろいろな経験を 2022

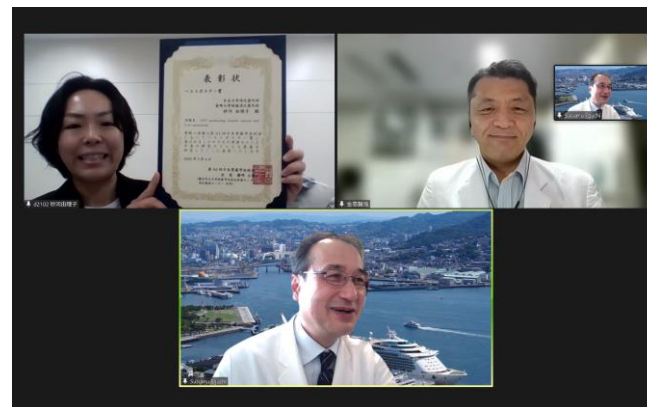


2022 受賞



中村 瞬 (H30卒)

第58回九州外科学会・第58回九州小児外科学会・
第57回九州内分泌外科学会 優秀演題賞



砂河 由理子 (H20卒)

第94回 日本胃癌学会総会 ベストポスター賞



福本 将之 (H27卒)

第122回日本外科学会定期学術集会 優秀演題賞
令和3年度九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 研究奨励賞
Asian Transplantation Week 2022 Best Abstract Award Silver



岡田 怜美 (H22卒)

令和3年度九州内視鏡・ロボット外科手術研究会
研究奨励賞

F. A. C. S. (American College of Surgeons)



原 貴信 (H17)

松島 肇 (H17)

修練医もSDまで同行

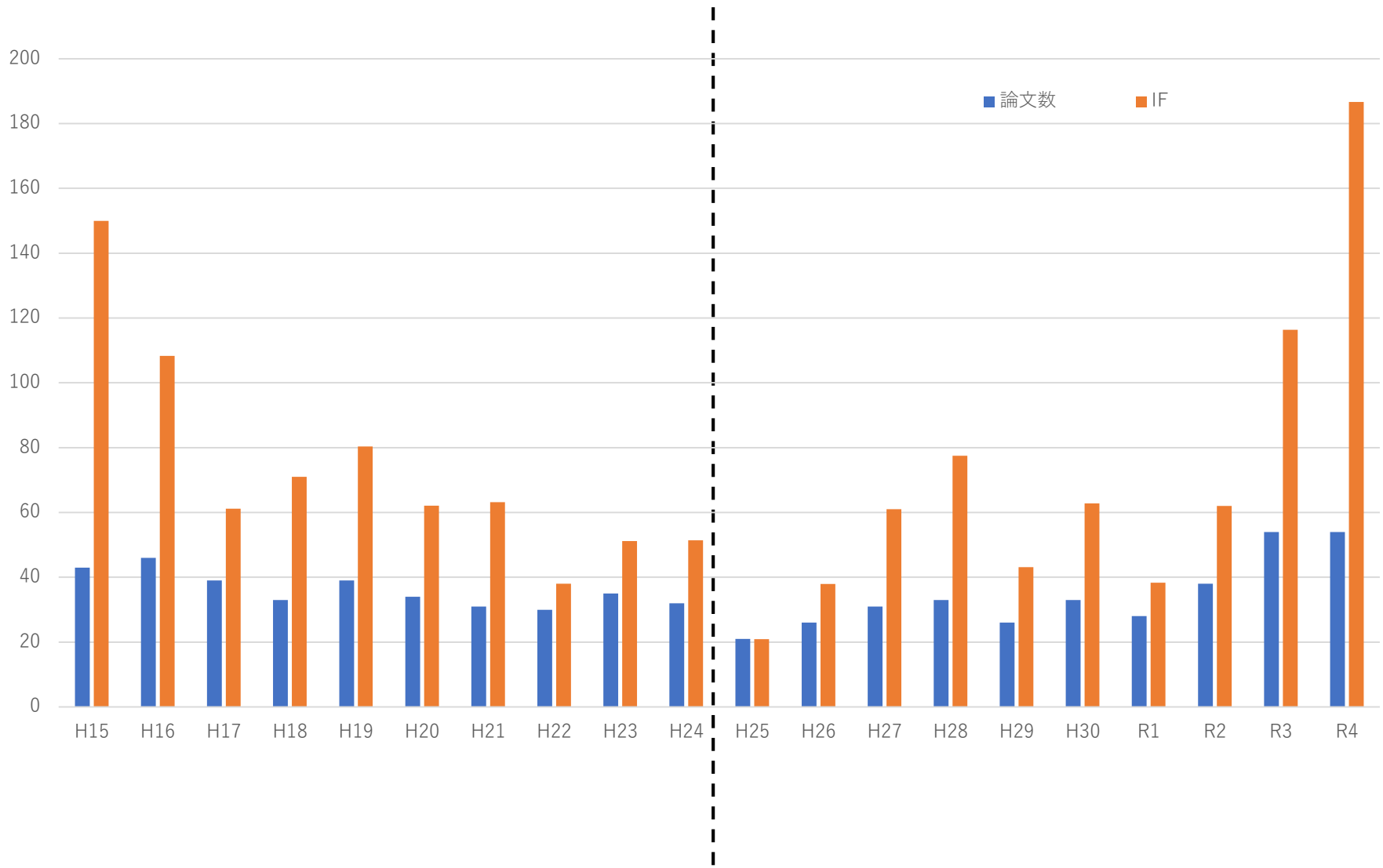


教室の研究 2022

論文数（英文）とIFの推移

論文数 54

IF値 186.739



関連病院からの論文（英文）

2021年 1. Yamashita M, et al. J Hepatobiliary Pancreat Sci. (長崎医療センター)

2020年 1. Yamanouchi, et al. Acta Medica Nagasakiensia (長崎医療C)

2. Imamura H, et al. Asian J of Endosc Surg (長崎みなとMC)

2019年 1. Imamura H et al. Asian J Endosc Surg. (長崎みなとMC)

2. Imamura H et al. Surg Case Rep. (長崎みなとMC)

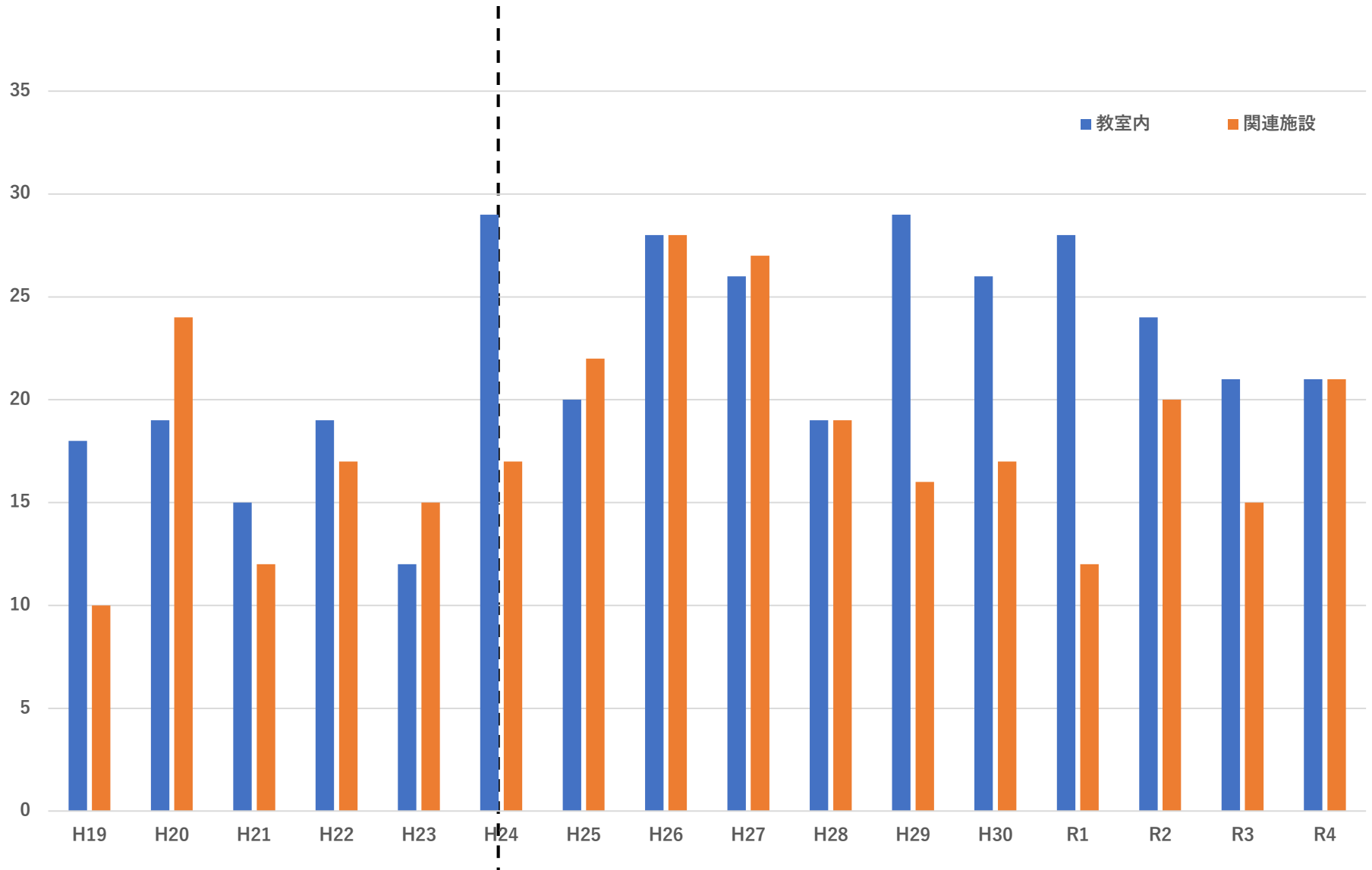
3. Imamura H et al. In Vivo. (長崎みなとMC)

2018年 1. Hamada T et al. Int Surg J. (長崎労災病院)

2017年 1. Matsushima H, et al. J Surg Educ (IF 2.16) (長崎労災病院)

2. Mine Y, et al. Int J Surg Case Rep (国立佐賀病院)

日本外科学会 発表演題数



学位取得者 5名

前川 恭一郎(H23) 博 (医歯薬) 甲第1407号

授与日；2022年3月2日

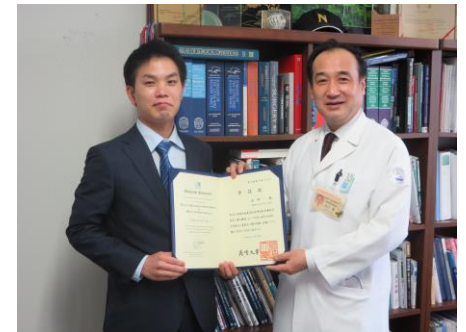
タイトル：Long-term culture of rat hepatocytes using human amniotic membrane as a culture substrate (ヒト羊膜を培養基質として用いたラット肝細胞の長期培養)



山口 峻(H25) 博 (医歯薬) 甲第1392号

授与日；2022年3月18日

タイトル：Novel Computer-Aided Diagnosis Software for the Prevention of Retained Surgical Items (手術器具遺残予防のための新しいコンピュータ支援診断ソフトウェア)



学位取得者 5名

吉元 智子 (H23) 博 (医歯薬) 甲第1451号

授与日；2022年6月1日

タイトル：A Simple Rapid Method for Measuring Liver Steatosis Using Bioelectrical Impedance (インピーダンス法を用いた肝脂肪率の簡易迅速測定法)



三好 敬之 (H24) 博 (医歯薬) 甲第1452号

授与日；2022年6月1日

タイトル：Successful induction of human chemically induced liver progenitors with small molecules from damaged liver (障害肝から小分子化合物を用いて化学的に誘導した肝前駆細胞の作成)



福井 彩恵子(H27) 博 (医歯薬) 甲第1453号

授与日；2022年6月1日

タイトル：The Contribution of Serum Complement Component 3 Levels to 90-Day Mortality in Living Donor Liver Transplantation (生体肝移植患者において血清補体第3成分の値が90日死亡率に与える影響の検討)



2022年度 第一回リサーチ検討会

(2022. 4. 28 @第1カンファランス室)

4年生



村上 俊介 H25

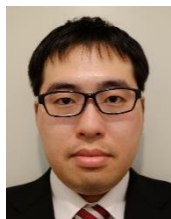


池田 貴裕 H25

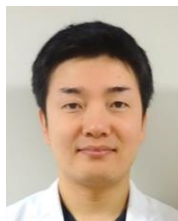
3年生



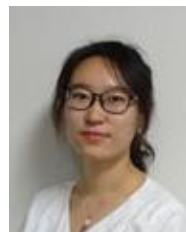
藤田 拓郎 H24



松隈 国仁 H26

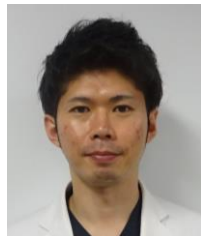


福本 将之 H27

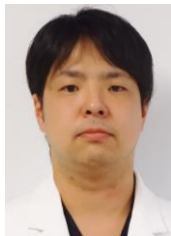


孟 祥玥

2年生



吉野恭平 H27

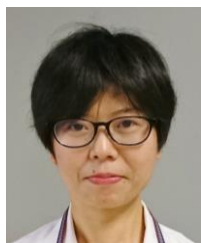


円城寺 貴浩



李 佩霖

1年生



哲翁 華子



右田 一成



川口 雄太



栗寄 健



李 陸洋



外部資金：文科科研

新規 4件

足立 智彦	基盤研究（C）	低分子化合物によるリプログラミング技術を用いた自己非 β 膵細胞からの新規 β 細胞誘導
丸屋 安広	基盤研究（C）	抗原性を消失させたユニバーサルヒト骨格筋芽細胞のセルバンキングの構築に関する研究
曾山 明彦	基盤研究（C）	化学的誘導肝前駆細胞によるin vivoにおける胆管再構築
哲翁 華子	研究活動スタート支援	ラットCLiPを用いた肝小葉様構造の作製および移植の実施、構造並びに機能評価

外部資金：文科科研

継続 13件

金高 賢悟	基盤研究 (C)	括約筋再生のための機能的筋細胞シートの開発
足立 智彦	基盤研究 (C)	ヘリコバクター属菌感染によるTLR9を介した肝内胆管癌発癌機構の解明
田中 貴之	基盤研究 (C)	神経微小環境と免疫細胞の相互作用による膵発癌・増悪の機序解明
米田 晃	若手研究	消化器癌に対する遺伝子改変T細胞と多機能ヘルパーT細胞誘導ワクチン併用療法の開発
丸屋 安広	若手研究	口腔粘膜上皮細胞シート移植による食道再生医療後の長期安全性評価基盤の構築
宮本 大輔	若手研究	立体的薬物動態システムを利用したがん細胞の薬物耐性変化のモニタリング
岡田 怜美	研究活動スタート支援	内因性TCRおよびMHC発現を抑制した非自己T細胞によるT細胞輸注療法の開発
池田 貴裕	研究活動スタート支援	膵島脂肪由来幹細胞シートにおける皮下と肝表面移植成果及び免疫応答能の差異の検討
江口 晋	基盤研究 (B)	ES細胞由来小腸オルガノイドを用いた再生医療による短腸症候群の革新的治療
日高 匡章	基盤研究 (C)	低分子化合物誘導された肝前駆細胞による胆汁排出システムを兼ね備えた肝組織の開発
小林 慎一郎	若手研究	臍帯由来間葉系幹細胞誘導筋芽細胞を用いた革新的消化器手術合併症予防法の開発
原 貴信	若手研究	低分子化合物による肝前駆細胞を用いた肝加齢性変化の改善、若返り治療
松島 肇	若手研究	マウス小腸移植モデルを用いた小腸移植後抗体関連型拒絶反応の発症機序と治療法の解明

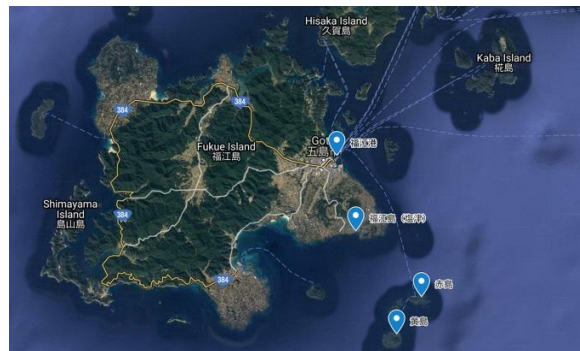
新規研究: Local 5Gを用いた遠隔手術指導に関する研究

長大病院—五島中央HpにおけるLocal 5Gを用いた手術指導体制の構築
手術: Tapp (腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術)

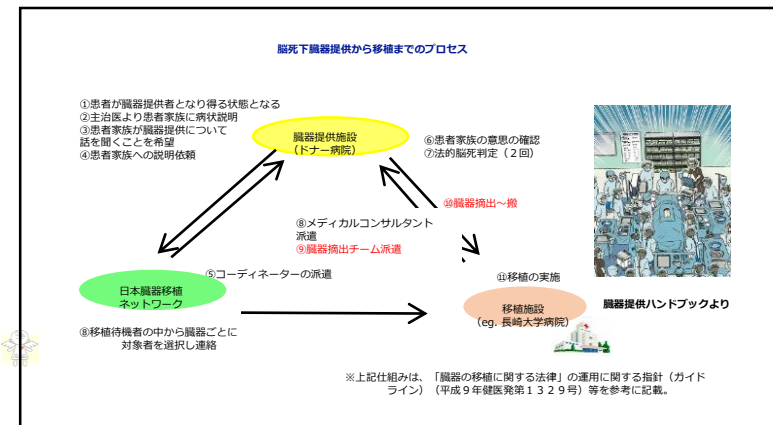


新規研究: 臓器移植におけるドローンを利用した搬送に関する研究

ANAとの共同研究、五島にて研究を実施予定



医療機器搬送用ドローン



2022 4大 公的プロジェクト

1. 血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する
肝移植を含めた外科治療に関する研究 （**厚労科研**）
2. 低分子化合物によるヒト肝前駆細胞(CLiP)を用いた肝硬変治療
（**AMED**）
3. 自己筋芽細胞シートによる十二指腸ESD後穿孔予防と
腹腔鏡デリバリーデバイス開発 （**テルモ共同研究講座、AMED**）
4. 体外機械還流法によるグラフト機能評価・改善
（**スクリーン共同研究講座**）

厚労科研エイズ対策研究事業：兼松班 → 江口班

- 「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植のための組織構築」
兼松班 平成21-23年度
- 「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植の適応に関する研究」
江口班 平成24-26年度
- 「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究」
指定班 江口班 平成27-29年度
指定班 江口班 平成30年度
令和元-2年度
- 「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究」
指定班 江口班 令和3-5年度

第3回 市民公開シンポジウム

2022年8月6日 東京 Hybrid開催

公開シンポジウム

HIV/HCV 重複感染患者に対する 肝移植を含めた外科治療の現状とこれから

HIV/HCV 重複感染の患者さんに対する肝移植に関する公開シンポジウムです。患者さんや一般市民を含めて、広く情報公開する場です。多くの方のご来場をお待ちしております。

事前登録不要 参加費無料

2022年8月6日(土)

時間 14:00▶16:00 (開場 13:30)

ハイブリッド開催

オンライン: YouTube で配信します。QRコードもしくは
ホームページからアクセスしてください URL: <https://bit.ly/3GRQGbr>
※はばたき福祉事業団ホームページからもアクセスできます

会場: ステーションコンファレンス東京 605AB
東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー6 階

プログラム

●挨拶: 秋野 公造 (参議院議員)
長江 翔平 (厚生労働省 健康局 結核感染症課 エイズ対策推進室長補佐)

●シンポジウム
司会: 江口 晋 (長崎大学大学院 移植・消化器外科)
四柳 宏 (東京大学医科学研究所付属病院)

基調講演: 「HIV/HCV 重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療の現状とこれから」
日高 匡章 (長崎大学大学院 移植・消化器外科)

シンポジスト

西田 恭治 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 血液内科/感染症内科)
田沼 順子 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
長谷川 康 (慶應義塾大学 一般・消化器外科)
長尾 梓 (疾病病院 血液凝固科)
曾山 明彦 (長崎大学大学院 移植・消化器外科)
患者

特別発言: 武田 飛呂城 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)



江口 晋 四柳 宏 日高 匡章 西田 恭治 田沼 順子 長谷川 康 長尾 梓 曾山 明彦

お問い合わせ

〒852-8501 長崎県長崎市坂本 1-7-1 長崎大学大学院 移植・消化器外科 江島重奈
TEL:095-819-7316 FAX:095-819-7319 Email: r_ejima0727@nagasaki-u.ac.jp

臓器移植法25周年 市民公開講座

2022年9月25日 那覇 Hybrid開催

臓器移植法施行25周年記念事業

ハイサイ臓器移植

“臓器移植ってなあに?”

2022年
日時 9/25(日)
14:00~16:00
会場 沖縄県立図書館3階ホール
+オンライン (ハイブリッド開催)

【プログラム】

1. 臓器移植ってなあに?	5. 臓器提供の現状
高槻光寿 先生 (長崎大学病院)	沖縄県臓器移植コーディネーター
2. 肝臓の病気と肝移植	6. 移植体験談
前城達次 先生 (長崎大学病院)	
3. 腎臓の病気と腎移植	7. “免疫寛容”のお話
大田守仁 先生 (友愛医療センター)	順天堂大学免疫治療研究センター 内田浩一郎 先生
4. 膵臓の病気と膵移植	8. 閉会のことば
大野慎一郎 先生 (長崎大学病院)	江口晋 先生

主催: 琉球大学 消化器・腫瘍外科 / 長崎大学 移植・消化器外科 / (一社) 日本移植学会
共催: (公財) 沖縄県健康医療福祉事業団 / (公財) 長崎健康事業団
後援: (公社) 日本臓器移植ネットワーク



AMED:低分子化合物によるヒト肝前駆細胞

(Chemically-induced Liver Progenitor; CLiP)を用いた肝硬変治療

硬変肝

肝組織の切除

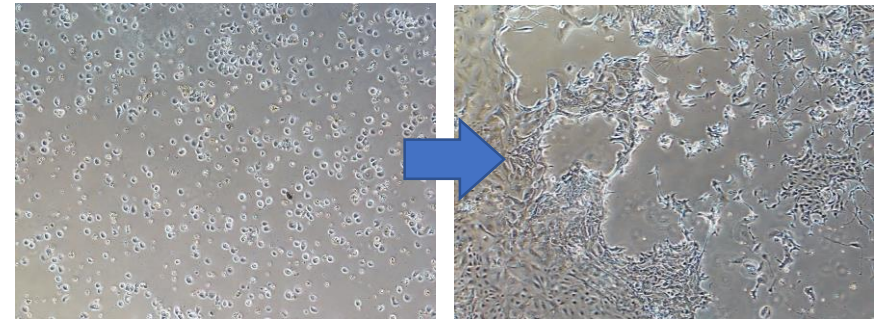
成熟肝細胞分離
リプログラミング

経門脈投与

硬変肝由来CLiP

成熟肝細胞 (Day1)

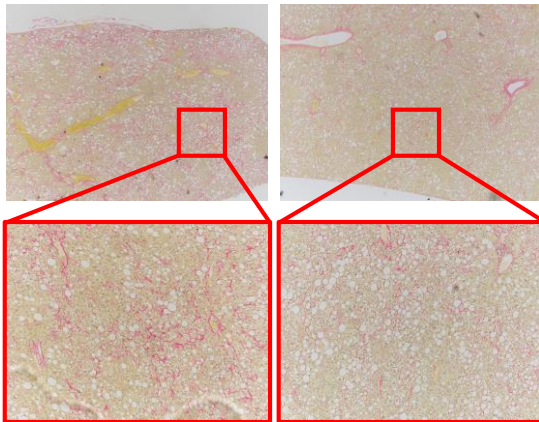
CLiPs (Day14)



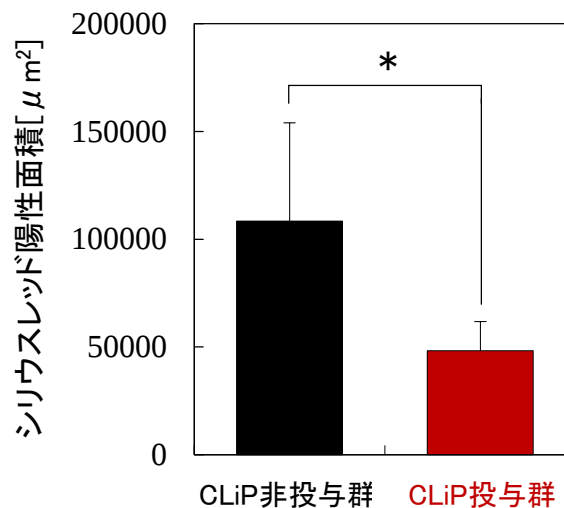
コラーゲン線維抑制効果(シリウスレッド染色)

CLiP非投与群

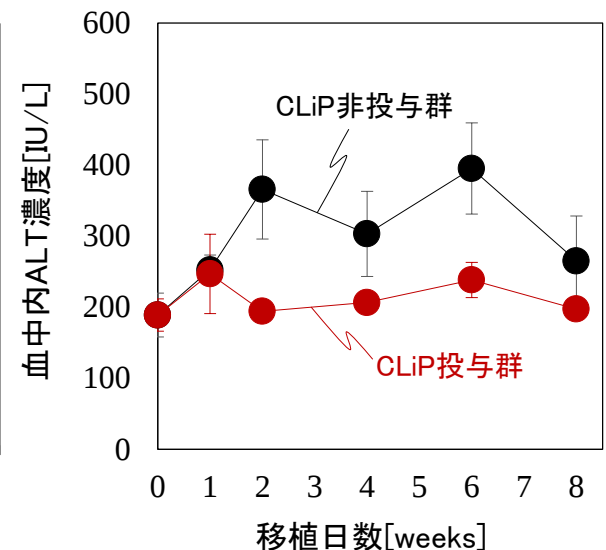
CLiP投与群



500μm



血中内ALT濃度 (肝障害性マーカー)



2017

2018

2024

2025

hCLiPからの胆

特願2019-06641

Huang, et al., Bio

高齢ラ

PMDA相談



事前面談



対面助言

国立大学法人長崎大学
江口 晋 殿

04医研開第2865号
令和4年8月19日

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
理事長 三島 良直

令和4年度 再生医療実用化研究事業に係る提案の採否について

標記の件、ご応募いただいた内容について公募要領に定めた方法に基づき厳正な審査を行い、下記の通り決定しましたのでご連絡いたします。

記

1. 選考結果： 採択
2. 研究開発課題名：低分子化合物による自己肝前駆細胞を用いた革新的肝硬変治療
研究開発提案者：江口 晋
3. 令和4年度委託金額（予定）：39,000千円（税込、間接経費込）
4. 留意事項：
 - 別紙に記載した「課題評価委員会等における指摘事項」を踏まえた上で実施計画を見直し、全体研究開発計画書及び令和4年度研究開発計画書に適切に反映してください。
 - 研究開発計画書の内容について不備が認められる場合、提出物の期限が守られない場合、不正行為等に関する本調査が開始された場合等、採択の取り消し等を行うことがありますので、ご注意ください。また、今後の調整の結果、契約締結額を上記の予定額から変更することがあります。
 - 本件、当機構のホームページ上で公開されるまでは、結果が公知となる行為はお控えください。

以上

【問い合わせ先】

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
再生・細胞医療・遺伝子治療事業部
再生医療研究開発課
再生医療実用化研究事業担当
TEL：03-6870-2220
E-mail：saisei3@amed.go.jp

実用化事業

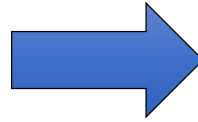
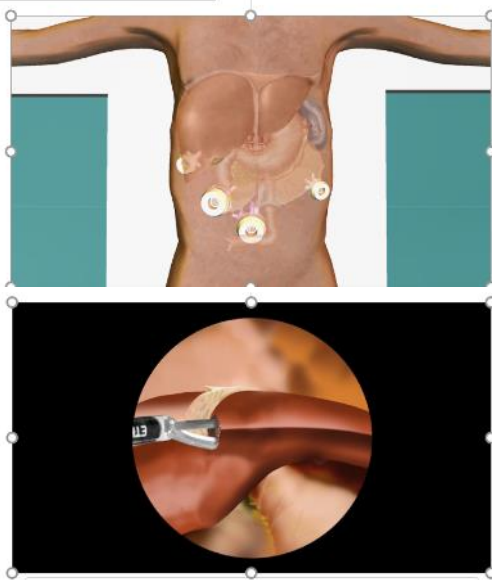
LiPの効果検証

(aration)

する相談

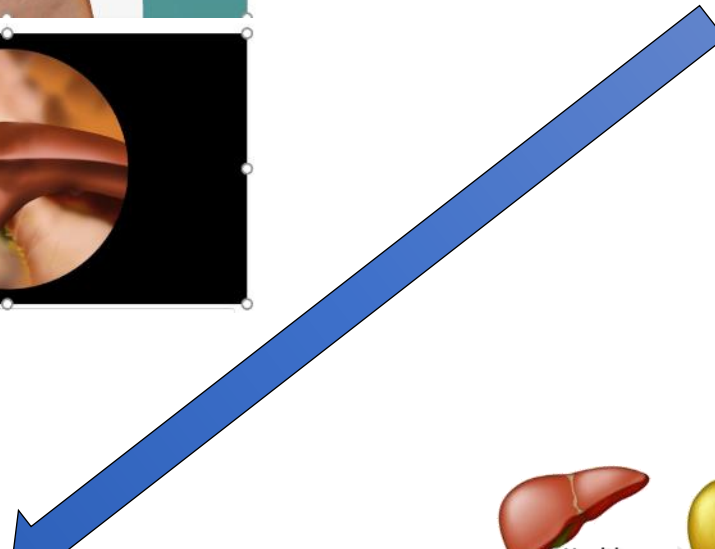
自己CLiPによる肝再生医療未来像(案)

全身麻酔下(腹腔鏡下)自己肝部分生検

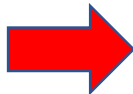
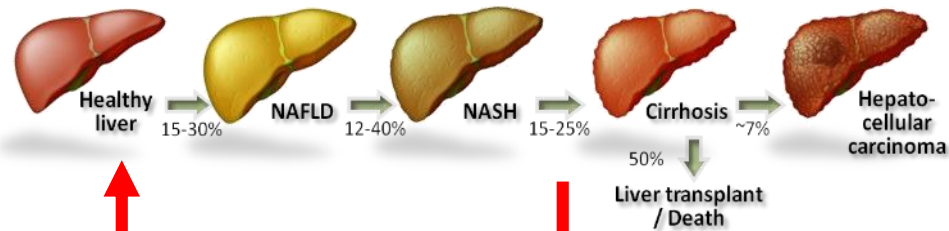


細胞プロセッシング室
(cell processing facility; CPF)

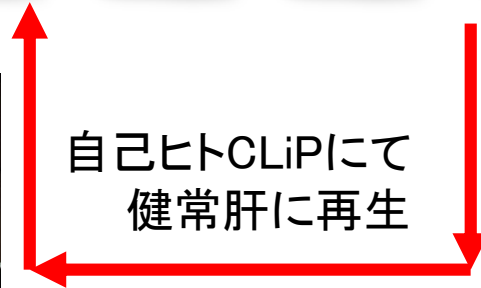
- ・ 自己ヒト肝細胞分離
- ・ 自己ヒトCLiP作製



自己ヒトCLiP投与
(経門脈的)



自己ヒトCLiPにて
健常肝に再生



自己筋芽細胞シートによる十二指腸ESD後 穿孔予防とデリバリーデバイス開発

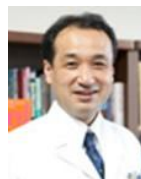
令和2年度AMED再生医療実用化事業



長崎大学・消化器外科

金高賢悟（研究開発代表者）

江口 晋（研究開発分担者）



医師主導治験の申請・実施

共同研究講座



治験薬の製造

九州大学

堺 裕輔（研究開発分担者）

デバイスの生物学的安全性試験



大阪大学

宮川 繫（研究開発分担者）

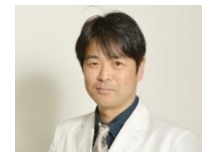
嶽北和宏（研究開発分担者）

**治験プロトコル策定
・薬事戦略アドバイザー**

腹腔鏡下手術

内視鏡的治療

治 験



長崎大学・消化器内科

中尾一彦（研究開発分担）

医師主導治験の申請・実施



長崎大学・臨床研究センター

山本弘史（研究開発協力者）

佐藤俊太郎（研究開発協力者）

**モニタリング・統計解析・デー
タマネジメント**



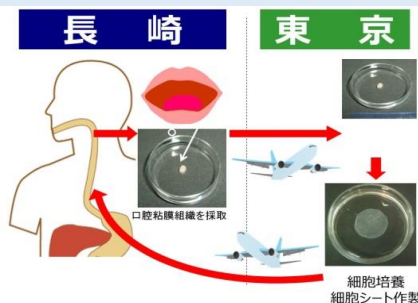
共同研究講座 治験の進捗

2008

2008年～2013年

細胞シートによる
再生医療実現プロジェクト

東京女子医大（大和班） -
長崎大学病院
食道再生医療 臨床研究



2017

長崎大学第3期
重点研究課題

自己筋芽細胞シートを用いた
消化器再生医療と
腹腔鏡デリバリーデバイスの開発



TERUMO

消化器再生医療学講座

2019

長崎大、腹腔内での「細胞シート」手術に成功 再生医療で世界初

2022/6/29 10:30 (JST) | 6/29 17:52 (JST) updated

© 株式会社長崎新聞社



会見で手術の成功を発表する金高教授（右）ら＝長崎大坂本キャンパス

患者自身の細胞を用いて作成した「細胞シート」を十二指腸腫瘍の治療に応用する新方式の手術に、長崎大の金高賢悟教授らのグループが成功した。腹腔（ふくう）内手術に細胞シートを用いた世界初の再生医療。同大が28日、発表した。

この手術では、十二指腸内にできた腫瘍を内視鏡手術で取り除くと同時に、腹部を約1センチ切開して細胞シートを挿入し、十二指腸の術部の外側に細胞シートを貼り付けた。細胞シートは、事前に患者の太ももから細胞を分離し7週間かけて培養。直径2.5センチ、厚さ0.1ミリの状態にしていた。

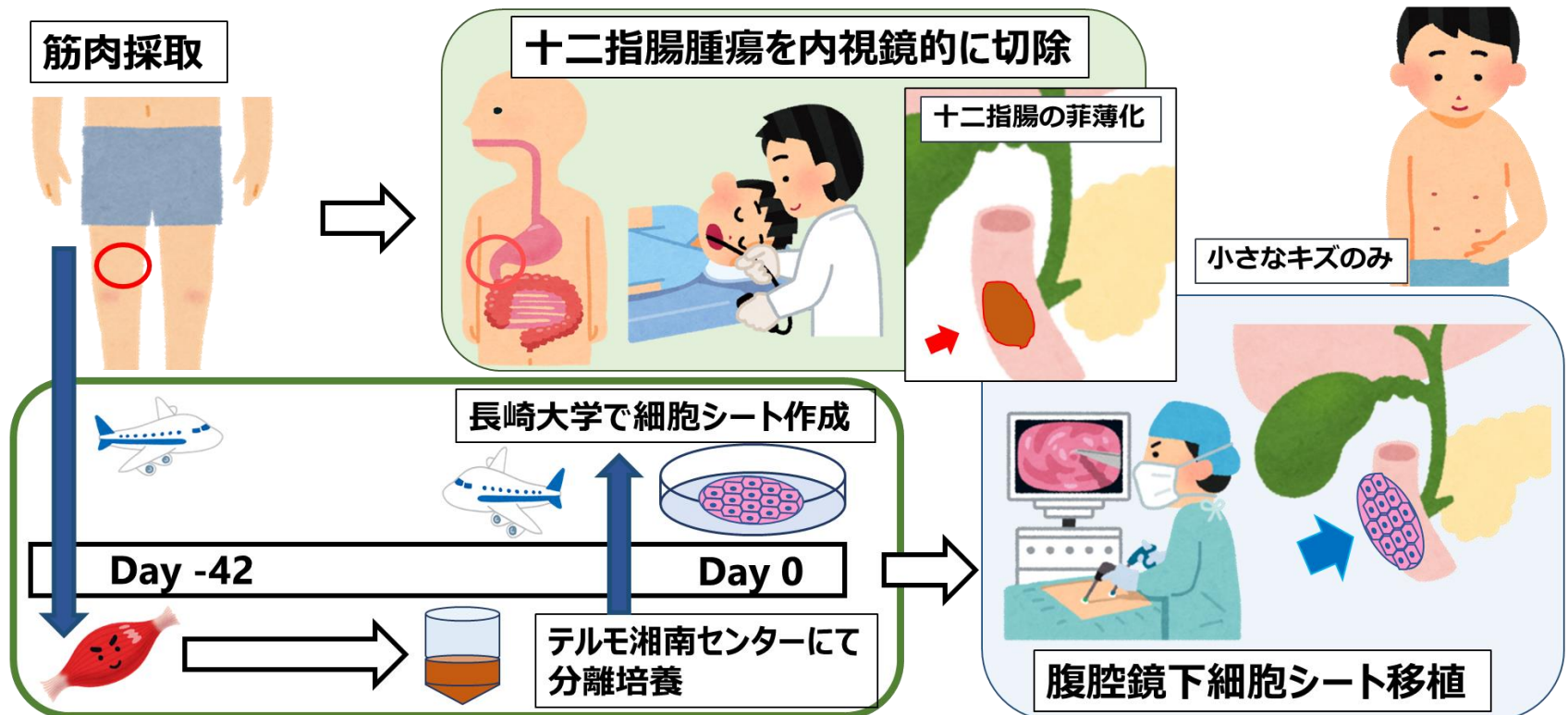
十二指腸は胃や大腸とは異なり、屈曲が大きく強力な消化液が分泌されるため、内視鏡手術で腫瘍を切除する際には穴が開く恐れがある。弱くなった部分はクリップで閉鎖するのが一般的だが、クリップが不完全だった場合、腹膜炎などの重篤な合併症を引き起こす危険がある。細胞シートを貼り付ける処置には、それを予防する効果がある。細胞が組織の修復を促す分泌物を出していると考えられるという。

同大大学院は2019年1月、医療機器メーカー「テルモ」（東京）との共同研究講座を開設。金高教授らのグループが長崎大学病院でこの手術方式による医師主導治験を開始し、今回の手術が第1例。6月8日に成人女性患者に実施した。術後の状態は良好で、患者は既に退院している。

細胞シートによる再生医療は、皮膚や心臓、血管などの治療では実用化されているが、腹腔内での治療に用いるのは前例がない。金高教授は「患者自身の細胞シートを使い、安全に治療することができる新しい手術方法。今後は肝臓や脾臓（すいぞう）など腹腔内の他の臓器の治療にも応用できるのでは」と話している。



医師主導治験の概要



十二指腸の早期がんを“内視鏡＋腹腔鏡＋再生医療”で安全に治療する

現在、2例に対して無事に治験を実施することが出来ました。

新しい共同研究講座 先端技術展開外科学講座

2022年11月3日 京都新聞 (13面)

本経済新聞

新聞・夕刊 LIVE Myニュース

経済 オピニオン 政治 ビジネス 金融 マーケット マネーのまなび テック 国際 スポーツ 社会・文化

キンドリル、それは社会成長の生命線

移植用臓器、状態改善し成功率向上 長崎大学・SCREEN

長崎 + フォローする

2022年11月1日 17:36

保存 共有

長崎大学とSCREENホールディングスは1日、ドナーから提供された移植用臓器に液体を流して機能を改善する「臓器かん流システム」の実用化に向け、共同研究講座を設けたと発表した。摘出後の保存時間が長くなり従来なら移植が難しい臓器でも、かん流で状態を改善させて移植の機会を増やす。まずは肝臓を対象に技術開発や検証を進め、2025年度にも人の肝移植で臨床研究を始める方針だ。



肝臓などの臓器移植を希望する待機患者に対し、ドナーから提供される臓器は慢性的に不足している。移植の機会を増やしたり成功率を高めたりすることが喫緊の課題だ。移植用臓器に特殊な装置をつないで薬剤などの入った液体を流し込み、臓器の状態の改善や保存時間の延長につなげる技術の開発が米欧を中心に進んでいる。

SCREENは主力の半導体製造装置の技術を生かし、東京慈恵会医科大学の小林英司特任教授とともに臓器かん流システムの開発に取り組んできた。移植医療の実績が豊富な長崎大学とも協力し、ブタを使った実験で技術に一定のめどが立ったことから、実用化に向けた共同研究講座を設置した。

オンラインで記者会見した長崎大の江口晋教授は「さらなる患者の救命につながると期待している」と語った。開発中のシステムでは、ドナーとなる脳死患者から摘出した肝臓を冷蔵輸送した後、移植手術をする病院でかん流装置につなぐ。

摘出後の保存時間が長くなったり脂肪が蓄積したりして移植に適さないと判断した肝臓でも、かん流で状態が改善したり正常な機能を確認したりできれば、移植の機会の増加や成功率の上昇につながると見込む。同大の曾山明彦准教授は「将来は他の臓器にも広げていきたい」と話した。

SCREENホールディングスと長崎大は、移植前の臓器に血液などを再び流す「臓器かん流システム」の国内初の臨床導入に向けた共同研究を本格的にスタートした。臓器の機能改善などを可能にする技術で、普及した流体制御技術を基に、小林英司東京慈恵会医科大特任教授の指導を受けて開発を進めている。

「臓器灌流」臨床導入へ SCREENと長崎大が研究 機能改善、移植機会拡大に

という。同システムで摘出から長時間経過した臓器に再び血液などを循環させれば、機能が改善するほか、移植前に状態を評価することができるとしている。

両者は昨年、肝移植に焦点を当てた共同研究を始めた。今後も動物実験や組織評価などを重ね、2025年以降の臨床研究開始を目指す。オンラインの記者説明会でSCREENの吉岡正喜上席執行役員は「システムの実用化を目指し、必要とする全ての患者が安心して移植を受けられる未来の創生に努めたい」と語った。

(菅井勇佑)

「臓器移植の発展に貢献期待」 臓器かん流臨床研究へ 長崎大などが共同講座

長崎新聞



オンライン会見する江口晋教授（右）と吉岡正喜スクリーンホールディングス上席執行役員

長崎大と産業機器メーカーのスクリーンホールディングス（京都市）は1日、ドナーから提供された臓器に酸素や血液を供給してよりよい状態で移植する臓器かん流システムの臨床導入へ向け、共同研究講座を開設したと発表した。実用化されれば国内初。

同システムは、提供を受けた臓器に機械で酸素や血液を供給する装置。長時間の運搬などで状態が悪化した臓器の機能を、移植前に改善させる。当面は肝臓移植を想定している。現在は神戸の施設でブタを使って実験中で、2025年度をめどに同大で臨床研究を開始したい考え。

同大によると、日本の脳死肝移植は年間50〜80件で、移植までの患者の平均待機期間は1年4カ月。

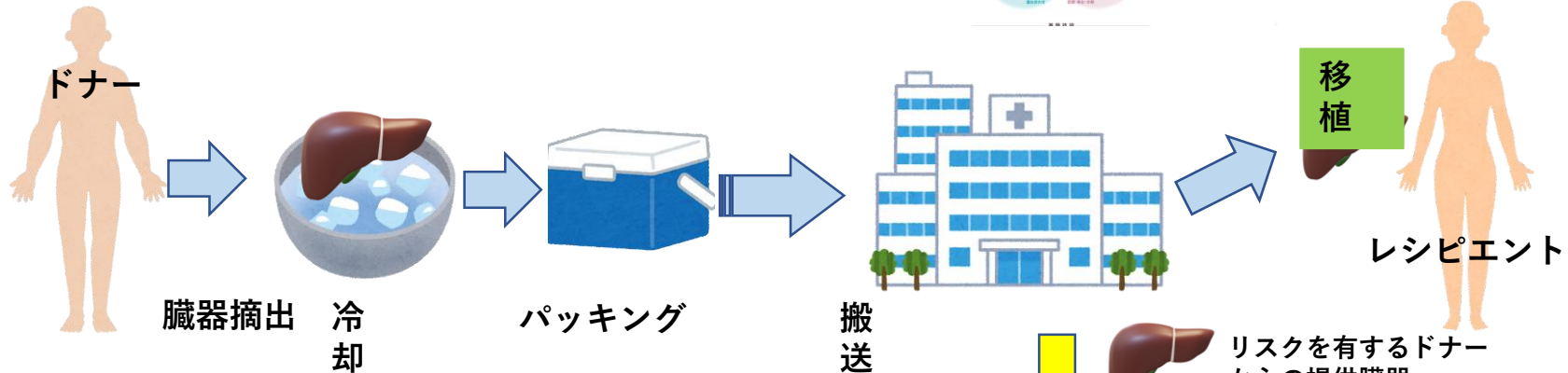
オンラインで記者会見した江口晋同大大学院医歯薬学総合研究科教授は「このシステムの実用化によって、より多くの臓器移植が行われ、欧米よりドナー数の少ない日本で臓器移植の発展に貢献することが期待される」と話している。

先端技術展開外科学講座

体外機械還流法によるグラフト機能評価・改善

曾山明彦 准教授 (H12)

(株)SCREEN



グラフト機能不全の リスクファクター

長時間保存例

脂肪肝

高齢ドナー

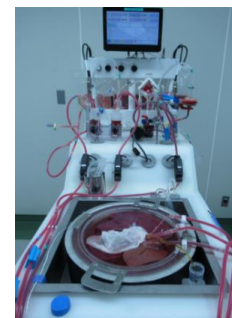
心停止ドナー

(本邦 現在実施なし)

リスクファクターを有する
ドナー からの移植の際、
移植前の機械還流による
機能評価・改善を目指した研究
が行われている。

- 欧米では臨床応用あり
- 本邦の現状にあった機器・システム開発が必要

Machine Perfusion



機械還流し、
機能確認



レシピエント

移植

移植実施率、
移植治療成績の向上



ボールがバックスに出た暁には
外科医が頑張ってトライしてく
ださい。



教室の社会貢献・国際交流 2022

特許(12件)

1. 出願番号：特願2016-510473 出願日：平成27年3月26日

発明の名称：外科手術用糸輸送器

発明者：江口 晋、黒木 保、小坂太一郎、石松隆和、諸麥俊司

出願人：国立大学法人長崎大学

特許第6235121号 登録日 平成29年11月2日

2. 出願番号：特願2018-14097 出願日：平成30年7月27日

発明の名称：消化管再生のためのシート状細胞培養物

発明者：丸屋安広、松本亮、小林慎一郎、金高賢悟、江口 晋、

大仁田賢、橋口慶一、大橋文哉、松村匡記

出願人：国立大学法人長崎大学、テルモ株式会社

3. 出願番号：特願2018-175557 出願日：平成30年9月20日

発明の名称：シート状物貼付デバイス

発明者：山本郁夫、盛永明啓、江口晋、金高賢悟、丸屋安広、小林慎一郎、

松本 亮、大橋文哉、松村匡記

出願人：国立大学法人長崎大学、テルモ株式会社

4. 出願番号：特願2018-242375 出願日：平成30年12月26日

発明の名称：シート状物貼付デバイス

発明者：堺裕輔、江口晋、丸屋安広、大橋文哉、鯨島正

出願人：国立大学法人長崎大学、テルモ株式会社

5. 出願番号：特願2019-068911 出願日：平成31年3月29日

発明の名称：肝前駆細胞を含む細胞集団を製造する方法

発明者：堺 裕輔、江口 晋

出願人：国立大学法人長崎大学

6. 出願番号：特願2019-066417 出願日：平成31年3月29日

発明の名称：培養組織及びその製造方法

発明者：堺 裕輔、江口 晋、足立智彦、黄 宇

出願人：国立大学法人長崎大学、エーザイ・アール・アンド・ディー・マネジメント株式会社

7. 出願番号：特願2020-010071 出願日：2020年1月24日

発明の名称：臓器の表面への貼付けのための生着シート状物

発明者：丸屋安広、山口 峻、金高賢悟、東 美樹、江口 晋、大橋文哉、松村匡記

出願人：国立大学法人長崎大学、テルモ株式会社

8. 出願番号：特願2020-028432 出願日：2020年2月21日

発明の名称：内視鏡操作支援システム及び内視鏡システム

発明者：小坂太一郎、江口 晋、足立智彦、諸麥俊司

出願人：国立大学法人長崎大学、学校法人中央大学

9. 出願番号：特願2019-23584 出願日：平成31年2月13日

発明の名称：切除器具

発明者：江口 晋、日高匡章、小坂太一郎、土屋 淳、佐藤 洋、諸麥俊司

出願人：国立大学法人長崎大学、高島産業株式会社、学校法人中央大学

10. 出願番号：特願2021-018360 出願日：2021年2月8日

発明の名称：肝臓表面に移植するための細胞シート

発明者：江口 晋、日高匡章

出願人：国立大学法人長崎大学

11. 出願番号：特願2021-132394 出願日：2021年8月16日

発明の名称：嚢胞様構造を有する三次元肝細胞培養物およびその製造方法

発明者：宮本大輔、江口晋、足立智彦、日高匡章

出願人：国立大学法人長崎大学

12. 出願番号：特願2021-018430 出願日：2021年2月8日

発明の名称：脾臓の切断面を覆うためのシート状細胞培養物

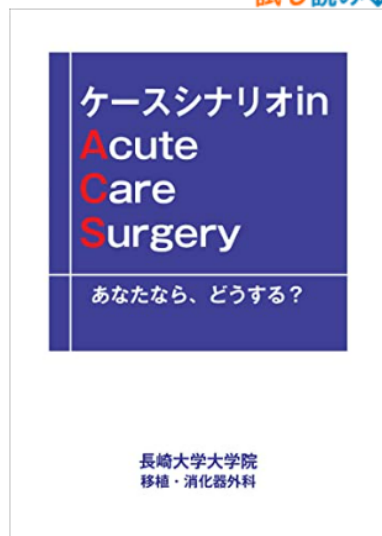
発明者：丸屋安広、山口 峻、金高賢悟、江口 晋、東 美樹、大橋文哉、甲斐美穂、

荒巻直希

出願人：国立大学法人長崎大学、テルモ株式会社

教室からの出版物

試し読み↓



ケースシナリオ in Acute Care Surgery ~あなたなら どうする?~ Kindle版



長崎大学大学院 移植・消化器外科 (著) | 形式: Kindle版

すべての形式と版を表示

Kindle版 (電子書籍)

¥0 kindleunlimited

Kindle Unlimited 会員は、このタイトルを追加料金なし (¥0) で読み放題

¥500 Kindle 価格

獲得ポイント: 5pt

～実臨床を元に作られた、外傷・救急疾患に関するショートシナリオ集～

長崎大学 移植・消化器外科、友愛医療センターの現役医師によって執筆された、胸腹部外傷・救急疾患に関するショートシナリオ集。近年急速に広がった、ACS (Acute Care Surgery) 分野に関する読み物です。

主催学会・研究会

第47回日本大腸肛門病学会九州地方会

第38回九州ストーマリハビリ研究会

(10月1日 出島メッセ長崎)

第47回
日本大腸肛門病学会九州地方会

第38回
九州ストーマリハビリテーション研究会



2022
10/1 [土]
会場 出島メッセ長崎
江口 晋
主催 長崎大学大学院医学部消化器内科学講座 外科 消化器外科 長崎大学大学院医学部消化器内科学講座
協賛 長崎大学大学院医学部消化器内科学講座 長崎大学大学院医学部消化器内科学講座
協賛 長崎大学大学院医学部消化器内科学講座 長崎大学大学院医学部消化器内科学講座
http://www.congre.co.jp/47daikon38stoma/



関連学会・研究会

第19回 日本乳癌学会 九州地方会

当番世話人 前田茂人先生（長崎医療センター） 3.5-6 出島メッセ

第15回 九州ヘルニア研究会

当番世話人 進 誠也先生（光晴会） 9.10 ホテルニュー長崎

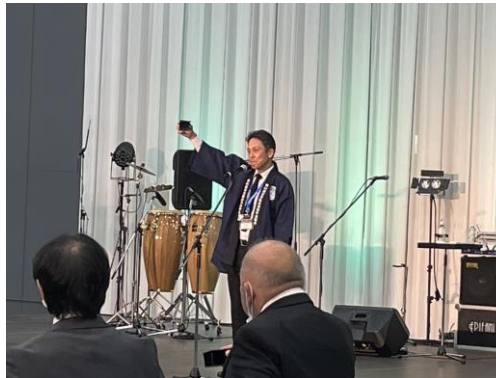
第5回 九州CART研究会

当番世話人 松尾光敏先生（長崎記念） 11.12 出島メッセ

※

第84回 日本臨床外科学会総会

総指揮 藤田文彦先生（久留米大学） 11.24-26 福岡国際会議場



今後の学会主催予定

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 第50回日本膵・膵島移植研究会 | 2023. 3予定 |
| 2. 日本膵臓内視鏡外科研究会 | 2023. 9予定 |
| 3. 日本移植学会 | 2024予定 |

海外からの留学生・研修生



孟 祥玥
(2018/10～大学院 4 年生)



李 佩霖
(2021/10～大学院 2 年生)
広州第一人民病院



李 陸洋
(2022/4～大学院 1 年生)
山東省済南市章丘医人民総合病院

海外からの留学生・研修生



Enzo Kerkhof
(2022/4~6 研究生)
ライデン大学



Nicolas Jaquemar
(2022/8 交換留学生)
ビュルツブルク大学



Dr. Chaw Phyu Phyu Than
(2022/8~10月 日本肝胆膵外
科学会からの奨学生)



Lyana Mirza
(2022/10 交換留学生)
ビュルツブルク大学



Julie Huguet
(2022/10-11 交換留学生)
アンジェ大学



教室の評価など

2022



HOME

患者の皆さんへ

for PATIENTS



外来診療担当表、診療内容、
などのご紹介です。

医療関係の皆さんへ

for Medical Professionals



診療内容、紹介システム
などのご紹介です。

学生・研修医の皆さんへ

for Medical Students
and Trainee Doctor



実習・研修・見学などの
ご案内のお知らせです。

移植・消化器外科の紹介

スタッフ紹介
研究活動
医局紹介動画
医局カレンダー



外科後期研修医募集中!!

やる気のある方、
出身大学問わず!!
委細面談!

〒: taichiro1111@nagasaki-u.ac.jp
☎: 095-819-7316 (医局)

《特別講演》(18:15~)
再生医療とロボット
リハビリテーションの
融合

弓削 類 先生
成慶大学大学院 医歯薬学総合研究科
生体工学医歯薬学研究室
教授

第43回
長崎障害者支援
再生医療研究会
2020年12月1日 火
17:30~
オンライン形式(Zoom)
にて開催

※ 参加希望の方は、ご連絡ください。

◆ 新着情報 ◆ NEWS & INFORMATION ◆ 過去の一覧 ◆

◆ 医局行事 ◆ Last update: 2020.10.29

(2020.10.29) 琉球大学の生体肝移植手術支援を行いました!

(2020.10.2) 研究奨励賞を山口峻先生が受賞しました!!

(2020.9.25) FACSを日高先生、小坂先生が取得されました!!

(2020.9.23) 脾腎同時移植6例目を施行致しました!

(2020.9.15) 第37回「角尾学術賞」受賞記念講演会(オンライン)の動画を公開しています。

◆ 学会発表情報 ◆ Last update: 2020.11.16

(2020.11.16) 《学会報告》第58回 日本人工臓器学会大会(濱田 隆志)

(2020.10.27) 《学会報告》第58回 日本癌治療学会学術集会(小林 和真)

(2020.9.28) 《学会報告》第30回 九州内視鏡・ロボット外科手術研究会(山口 峻)

(2020.9.23) 《学会報告》第43回 九州食道疾患検討会(小林 和真)

脾臓移植・脾腎同時移植
を希望される患者様へ

女性外科医
を目指す方へ

長崎大学
重点課題

厚労科研
エイズ対策研究事業

長崎大学 移植・消化器外科
Journal Club 抄読会

長崎大学 移植・消化器外科
医局紹介動画

長崎障害者支援
再生医療研究会

Webメディアの
取材を受けました
Dr. Doctorbook

f

Since 2010.3.15 277412

当科の学内評価

対象者：2021年5月1日および2022年5月1日に具岐大学に在籍する教員

対象者数

所属部局	125人
同一職位	289人
全 学	1049人

総合ポイント

19,208Pt

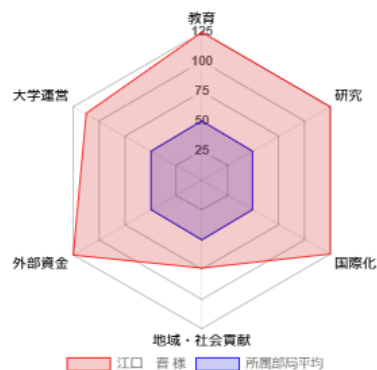
2021年度の実績

印刷1

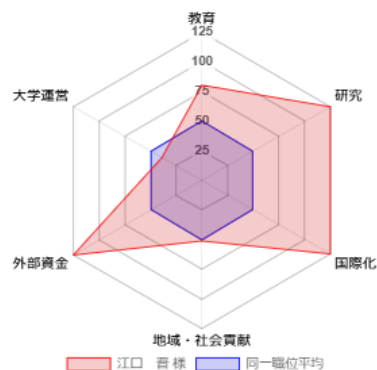
印刷2

項目	実績値(Pt)	所属部局内の状況				同一職位内の状況			
		職位(位)	平均値(Pt)	中央値(Pt)	最大値(Pt)	平均値(Pt)	中央値(Pt)	最大値(Pt)	
教育 ▼	2,713	2	545	305	2,718	1,687	1,679	5,166	
研究 ▼	6,291	3	1,135	636	14,487	922	573	14,487	
国際化 ▼	864	1	67	13	864	254	79	3,068	
地域・社会貢献 ▼	270	20	183	0	2,150	265	40	3,000	
外部資金 ▼	8,512	3	1,356	1,017	14,892	952	233	14,892	
大学運営 ▼	508	17	225	46	1,970	657	500	2,600	
プラネタリーヘルスへの取り組み ▼	50	9	12	0	100	21	0	100	

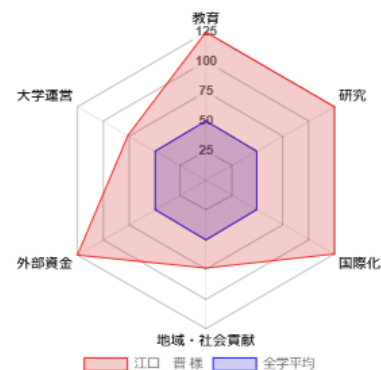
所属部局平均との比較（所属部局平均を50として表示）



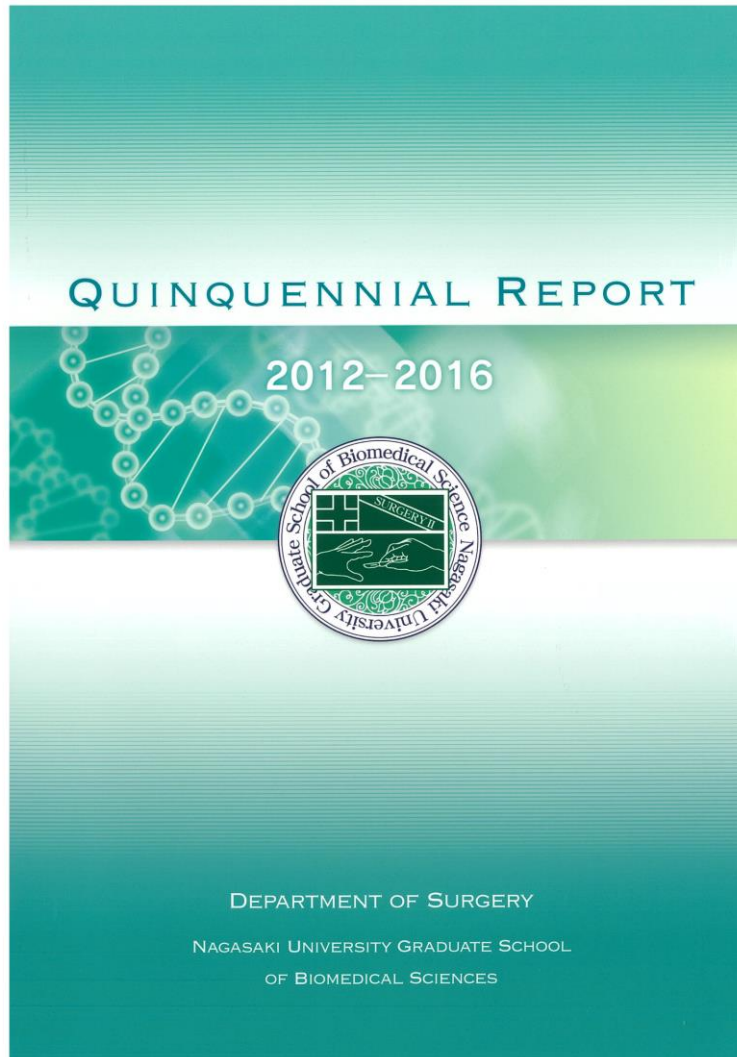
同一職位平均との比較（同一職位平均を50として表示）



全学平均との比較（全学平均を50として表示）

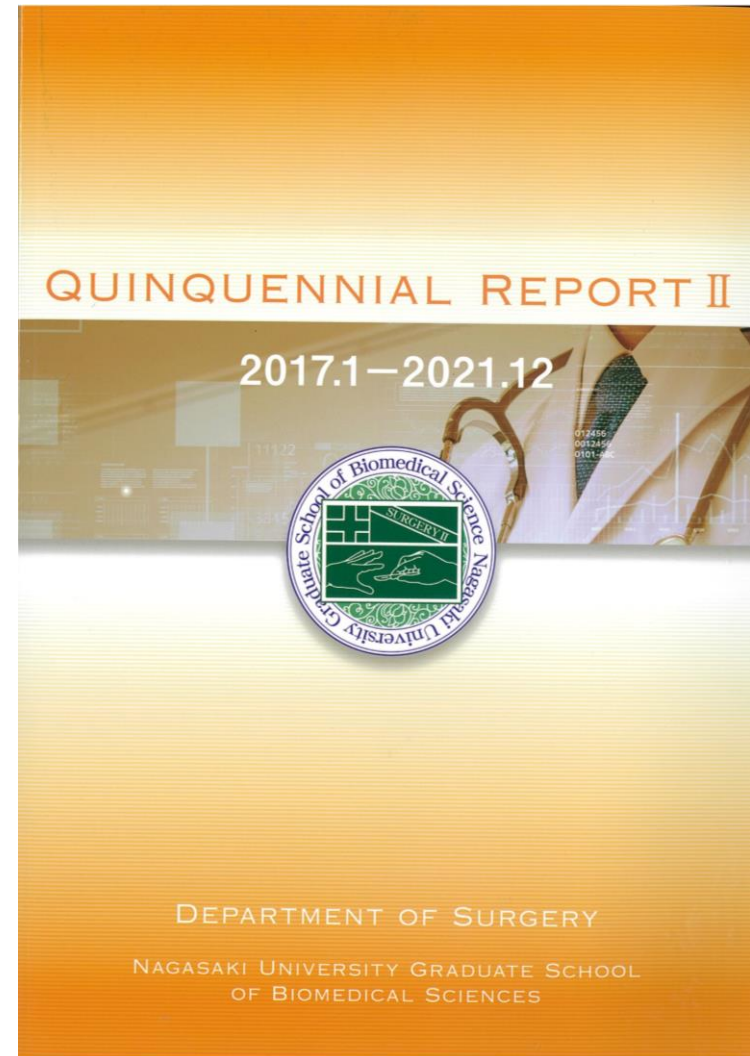


1－5年業績集



担当
曾山 明彦 助教
草野 舞子 秘書

6－10年業績集



担当
伊藤 信一郎准教授、松島 肇 助教
秘書：草野 舞子、柴田知佳、村井友美

田島義証教授 11年間お疲れさまでした。



2013 4 日本外科学会にて(福岡)

長大時代の田島教授



おわりに

今後とも教室へのご支援宜しく
お願い申し上げます。

皆さんが楽しく外科医を続けられる
ように、考えていきたいと存じます。

診療応援・代診などのご要望は、
医局長までお知らせください。